ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 4800

クールピクス4800

使用説明書

本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に便利な情報を記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

「初期設定」について

この使用説明書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

SD メモリーカードの表記について

この使用説明書では、SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。

内蔵メモリと SD カードについて

このカメラは内蔵メモリと SD カードの両方に対応しています。SD カードをカメラにセットしているときは、SD カードが優先して使用されます。内蔵メモリに対して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SD カードをカメラから取り出してください。

商標説明

ニコンデジタルカメラ COOLPIX4800 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラ COOLPIX4800 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくご使用ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに
修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る

すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。

特に乳幼児を撮影する時は 1m 以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

AC アダプタご使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

プラグを抜く

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

AC アダプタをご使用の場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険（リチウム電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「+」と「−」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

充電式電池以外は、充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 警告（リチウム電池について）

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。

使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX4800 に対応しています。EN-EL1 に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店へご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

目次

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマ登録は下記の Web サイトからも可能です。

http://reg.nikon-image.com

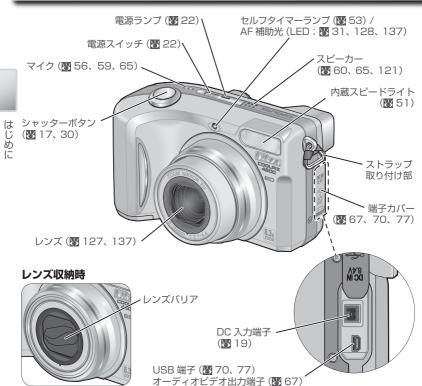
●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

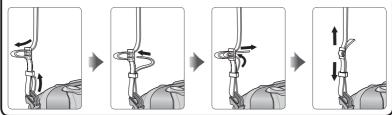
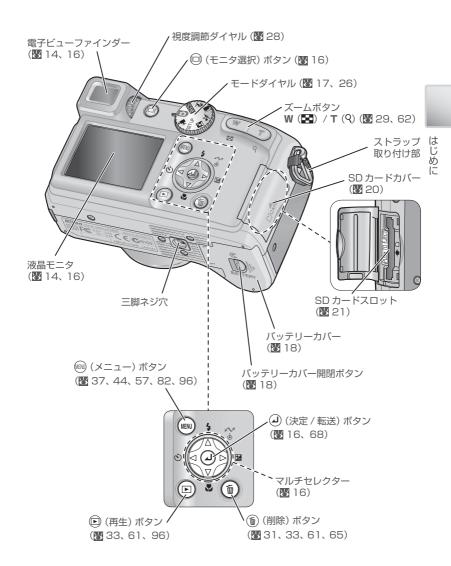
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプタ、スピードライトなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーを使用すると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品および模倣品と組み合わせて使用することにより、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

電源ランプ（22）

セルフタイマーランプ（53）/
AF 補助光（LED；31、128、137）

電源スイッチ（22）

マイク（56、59、65）

スピーカー
（60、65、121）

内蔵スピードライト
（51）

シャッターボタン
（17、30）

ストラップ
取り付け部

端子カバー
（67、70、77）

レンズ（127、137）

レンズ収納時

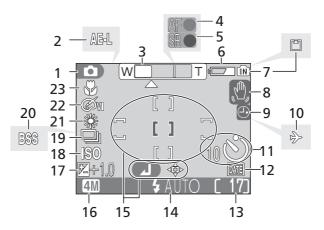
レンズバリア

DC 入力端子
（19）

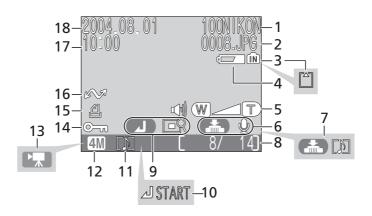
USB 端子（70、77）
オーディオビデオ出力端子（67）

ストラップの取り付け方

付属のストラップは、カメラのストラップ取り付け部（2 ヶ所）に取り付けます。

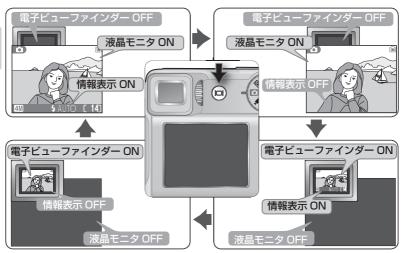
電子ビューファインダー
(14、16)
視度調節ダイヤル (28)
(モニタ選択) ボタン (16)
モードダイヤル (17、26)
ズームボタン
W () / T () (29、62)
ストラップ
取り付け部
SD カードカバー
(20)
PUSH TO EJECT
SD カードスロット
(21)
液晶モニタ
(14、16)
三脚ネジ穴
バッテリーカバー
(18)
バッテリーカバー開閉ボタン
(18)
(メニュー) ボタン
(37、44、57、82、96)
MENU
(決定 / 転送) ボタン
(16、68)
マルチセレクター
(16)
(再生) ボタン
(33、61、96)
(削除) ボタン
(31、33、61、65)

液晶モニタ / 電子ビューファインダーの表示

撮影時

撮影時の液晶モニタまたは電子ビューファインダーの表示は次のとおりです。
※液晶モニタと電子ビューファインダーには、同じ情報が表示されます。

1 撮影モード......17、26
シーンモード......36
動画モード......56
2 AE-L 表示......49
3 ズーム表示 1)......29
4 AF 表示 2)......30
5 スピードライト表示 2)......30
6 バッテリーチェック 3)......26、27
7 内蔵メモリ /SD カード表示......26
8 手ブレ警告 4)......45、52、130
9 時計マーク 5)......24
10 ワールドタイム......117
11 セルフタイマー / カウントダウン表示......53
12 デート写し込み......119
13 撮影可能コマ数......26、84
動画連続撮影記録時間......56、59
14 スピードライトモード......51
15 AF エリア /AF エリア選択ガイド......39、94
16 画像モード......83
17 露出補正マーク / 露出補正値......55
18 感度変更モード......39、91
19 連写モード......87
20 BSS......89
21 ホワイトバランス......85
22 ピクチャーカラー......95
23 マクロモード......47、54

1) ズーム操作時に表示
2) シャッターボタンの半押し時に表示
3) バッテリー残量が少なくなったときに表示
4) シャッタースピードが遅いときに表示
5) 日時が設定されていない場合に点滅表示

再生時

再生時の液晶モニタの表示は次のとおりです。

1	フォルダ名	35
2	ファイル名	35
3	内蔵メモリ /SD カード表示	26
4	バッテリーチェック※	26、27
5	音量表示	60、65
6	音声メモ録音ガイド	65
7	音声メモ再生ガイド	65
8	表示画像コマ番号 / 総画像コマ数	35
	動画再生時間	60

※ バッテリー残量が少なくなったときに表示

9	クイック拡大表示	34
10	動画再生表示	60
11	音声メモ表示	65
12	画像モード	83
13	動画モード	60
14	プロテクト表示	102
15	プリント表示	74
16	転送マーク	103
17	撮影時刻	23
18	撮影日付	23

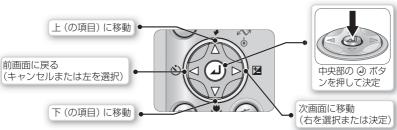
表示画面の切り換え

撮影時には、（モニタ選択）ボタンを押すごとに、液晶モニタと電子ビューファインダーの表示が次のように切り換わります。

電子ビューファインダー OFF
液晶モニタ ON
情報表示 ON

電子ビューファインダー OFF
液晶モニタ ON
情報表示 OFF

電子ビューファインダー ON
情報表示 ON
液晶モニタ OFF

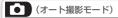
電子ビューファインダー ON
情報表示 OFF
液晶モニタ OFF

液晶モニタと電子ビューファインダーには同じ情報が表示されます。撮影状況などに応じて使い分けてください。周囲が明るいため液晶モニタが見にくい場合などに、電子ビューファインダーを使用して撮影することをおすすめします。

再生時には、液晶モニタにのみ画像や情報が表示されます。ボタンを押すごとに、情報表示の ON/OFF が切り換わります。

マルチセレクターについて

メニュー操作時（37、44、57、82、96）は、マルチセレクターを使用します。

モードダイヤルについて

モードを切り換えるときは、モードダイヤルを回して、使用するモードのアイコン（絵文字）を ▬ 指標に合わせます。

SCENE（シーンモード）

(36)

11 種類のシーンモードから撮影状況に合ったモードを選択するだけで、思いどおりの撮影が楽しめます。

（オート撮影モード）

(26)

カメラまかせで簡単に撮影できます。また、9 種類の撮影メニューを自由に設定して撮影することも可能です。

（動画撮影モード）

(56)

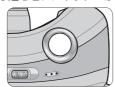
3 種類の動画を撮影できます。

（ポートレートモード）

（風景モード）

（スポーツモード）

（夜景ポートレートモード）

(36)

アシスト機能付きのシーンモードで撮影できます。

SET UP（セットアップモード）

(113)

セットアップメニューが画面に表示されます。日時設定や画面の明るさなどを設定します。

シャッターボタンの半押しについて

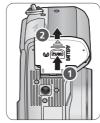
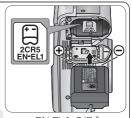
シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを**半押しする**」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに緑色の AF 表示が点灯します（30）。半押し中は、ピントと露出が固定されます。半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

半押しすると
ピントと露出が固定

さらに深く
押し込んで撮影

バッテリーを入れます

このカメラは、次のバッテリーが使用できます。

使用できるバッテリー	特　長
Li-ion リチャージャブル バッテリー EN-EL1	• 付属のリチウムイオン電池（充電式）です。 • はじめてご使用になるときや、バッテリーの残量が少なくなったときは、付属の専用バッテリーチャージャー MH-53 で充分に充電してからご使用ください。充電方法については MH-53 の使用説明書をご覧ください。 • 充電時間は、残量のないバッテリーを充電する場合で約 2 時間です。
2CR5 型リチウム電池	• 市販の電池です。 • 充電はできません。

1 バッテリーカバーを開けます。

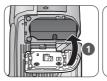
• バッテリーカバー開閉ボタンを押しながら（❶）、カバーを矢印の向きにスライドさせ（❷）、開けます（❸）。

2 バッテリーを入れます。

• バッテリー室内の図に合わせて、＋と－を正しい向きで入れてください。
• 市販の 6V リチウム電池（2CR5）を使用する場合も、EN-EL1 と同じ向きに入れてください。

EN-EL1 の場合

逆挿入注意

電池の向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、よく確認してください。

2CR5 の場合

3 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを閉じ（❶）、矢印の向きにスライドさせます（❷）。
- バッテリーカバーがしっかり閉じていることを確認してください。

バッテリーを取り出すには

カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認した上で、バッテリーカバーを開け、バッテリーを取り出してください。

- カメラの使用直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリー EN-EL1 の取り扱いについては、バッテリーやバッテリーチャージャーの使用説明書もあわせてご覧ください。
- バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（5 ～ 7）や「バッテリーの取り扱いについて」（129）の注意事項を必ずお守りください。

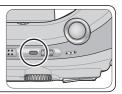
使用できる AC アダプタ

再生時やパソコンとの接続時など、カメラを長時間ご使用になる場合は、別売の AC アダプタ EH-54 をご使用ください。AC アダプタを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX4800 へ電源を供給できます。EH-54 以外の AC アダプタは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。

SD カードを入れます

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリ（約 13.5MB）、または市販の SD カードのいずれかに記録することができます。使用可能な SD カードについては、「付録ー別売アクセサリー」の推奨 SD カード一覧（126）をご覧ください。

SD カードをカメラにセットしていない場合：

撮影した画像は内蔵メモリに記録されます。再生（61）や削除（100）、初期化（122）などの操作も、内蔵メモリに記録された画像が対象になります。

SD カードをカメラにセットした場合：

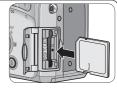
撮影した画像は SD カードに記録されます。再生や削除、初期化などの操作も、SD カードに記録された画像が対象になります。

内蔵メモリに記録したいときは、必ず SD カードを取り出してから撮影してください。

SD カードを使用する場合、次の手順でセットしてください。

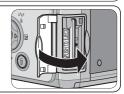
1 カメラの電源が OFF になっていることを確認します。

- 電源ランプが消灯していることをご確認ください。

2 SD カードカバーを開けます。

SD カードの初期化

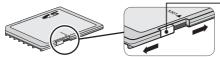
COOLPIX4800 ではじめて使用する SD カードは、あらかじめ初期化（フォーマット）する必要があります。**初期化は、必ずカメラで行ってください。**パソコンで初期化すると、データの書き込み・読み出しができないなどの不具合が発生することがあります。詳しい手順については、「メモリの初期化 / カードの初期化」（122）をご覧ください。

3 SD カードを入れます。

- SD カードを端子部側から SD カードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入注意

向きを間違えて入れると、カメラや SD カードが破損するおそれがあります。 正しい向きになっているか、よくご確認ください。

4 SD カードカバーを閉じます。

SD カードを取り出すには

カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認した上で、SD カードカバーを開けてください。SD カードを軽く押し込むと、カードの端が少し出てきますので、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

SD カードには、書き込み禁止スイッチがついています。このスイッチを「Lock」にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像などを保護することができます。撮影または画像の削除、編集時には「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ
「Lock」にすると、画像の撮影、編集、削除は行えません。また、USB 通信方式を **Mass Storage** に設定している場合は、カメラの (⏎) ボタンを使用して画像を転送することができません (68)。
画像の再生のみ行うことができます。

撮影の準備

電源を ON にします

電源を ON にします。

- 電源ランプが点灯するまで、電源スイッチを押します。
- はじめて電源を ON にしたときは、表示言語や日時を設定する画面が自動的に表示されます。設定方法は「言語と日時を設定します」(📖 23) をご覧ください。

電源ランプの状態は、次の意味を表しています。

電源ランプの状態	意　味
点　灯	電源 ON
速い点滅	オートパワーオフ機能作動中（節電モード）
遅い点滅	電池残量がありません (📖 27)
消　灯	電源 OFF

カメラの電源を OFF にするときは

- 電源スイッチをもう一度押します。
- 電源が OFF になると、電源ランプが消灯します。
- 電源ランプが消灯するまでバッテリーや SD カードを取り出したり、AC アダプタを外したりしないでください。

オートパワーオフ機能（節電モード）

カメラの電源が ON の状態で、なにも操作しないで約 1 分（初期設定）経過すると、バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が作動して、節電モードになります。節電モードでは、液晶モニタ（および電子ビューファインダー）が消灯し、電源ランプが速く点滅します。節電モードになってから、なにも操作しないで約 3 分経過すると、自動的に電源が OFF になります。節電モードは次の操作で解除できます。

- 電源スイッチを押す
- シャッターボタンを半押しする
- (▭) ボタンを押す
- (▶) ボタンを押す（再生モードになります）
- (MENU) ボタンを押す（各モードのメニュー画面が表示されます）
- モードダイヤルを回す（セットしたモードに入ります）

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、セットアップメニューの**オートパワーオフ**で 30 秒、1 分、5 分、30 分のいずれかに設定できます (📖 122)。

言語と日時を設定します

はじめてカメラの電源を ON にしたときは、表示言語や日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

1

カメラの電源を ON にすると、表示言語の選択画面が表示されます。マルチセレクターの △、▽、◁、▷で言語を選択して、Ⓔ を押します。

- MENU ボタンを押すと、言語 / 日時設定をキャンセルして、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

2

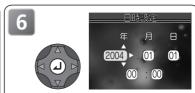
「日時設定」画面が表示されます。△または▽を押して**はい**を選択します。

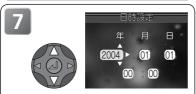
- **いいえ**を選択すると、日時設定をキャンセルして、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

3

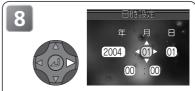
Ⓔ を押すと、「ワールドタイム」画面に切り換わります。夏時間を設定しない場合は、そのまま手順 5 へお進みください。

4

▽を押すと、夏時間を設定できます。

- Ⓔ を押すと、□ が ☑ に切り換わり、夏時間が設定されます。Ⓔ を押すたびに、□ と ☑ が切り換わります。
- 夏時間を設定後、△を押して都市名の項目に戻ります。

撮影の準備

夏時間とは

夏時間とは、夏の間だけ時刻を 1 時間繰りあげて、日中の明るい時間を有効利用する趣旨で、現在約 70 ヶ国で採用されている制度です。夏時間を設定すると、時刻が 1 時間進みます。ただし、日本国内では設定する必要がありません。

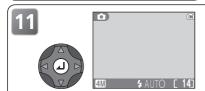
5

▷を押すと、「自宅の設定」画面に切り換わります。◁または▷を押して、自宅のあるタイムゾーン（地域）を選択します。

6

Ⓐ を押すと、「日時設定」画面に切り換わります。

7

年が点滅します。△または ▽を押して、年を合わせます。

8

▷を押して、**月**の設定に移ります。7と8の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に合わせます。

9

▷を押します。**年月日**の位置が点滅します。

10

△または ▽を押して、年月日の表示順を**年月日**、**日月年**、**月日年**の中から選択します。

11

Ⓐ を押します。日時が決定して、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります（例は 📷 モード時）。

- 日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に画面に時計マーク（🕘）が点滅し（👁 14）、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」（静止画）または「2004.01.01.00:00」（動画）と記録されます。

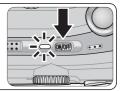
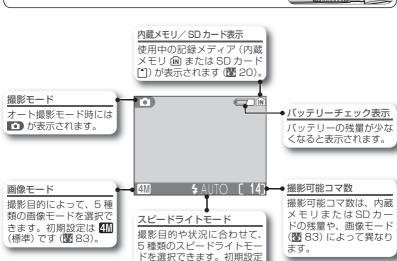
日時設定について

- 日時を設定すると、撮影した日時の情報が画像に記録されます。ただし、日時を設定しただけでは、プリント時に日付は写し込まれません（日付を入れてプリントする方法：73）。
- カメラの内蔵時計は一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- カメラの電源を ON にしたときに時計マーク（）が点滅表示された場合は、日時を設定してください。

バックアップ電池について

バックアップ電池はバッテリーや AC アダプタでカメラに電源が供給されていると、約 10 時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取り出したり、AC アダプタを外したりしても、記憶された日時は**数日間**保持されます。**バックアップ電池が切れたときは、自動的に日時の設定画面が表示されるので、再度日時を設定してください。**

- バックアップ電池の充電が不充分な場合は、設定した日時のデータが失われることがあります。

1. モードダイヤルを にセットします

（オート撮影）モードでは、撮影状況に合わせて、カメラの各機能が自動的に最適な状態にセットされます（初期設定の場合）。はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードダイヤルを に合わせます。

2 カメラの電源を ON にします。

- 電源を ON にすると、電源ランプが点灯し、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにオープニング画面（ 115）が表示された後、撮影画面に切り換わります。

4M AUTO [14]

内蔵メモリ／SD カード表示
使用中の記録メディア（内蔵メモリ IN または SD カード ）が表示されます（ 20）。

撮影モード
オート撮影モード時には が表示されます。

バッテリーチェック表示
バッテリーの残量が少なくなると表示されます。

画像モード
撮影目的によって、5 種類の画像モードを選択できます。初期設定は 4M（標準）です（ 83）。

スピードライトモード
撮影目的や状況に合わせて、5 種類のスピードライトモードを選択できます。初期設定は AUTO（自動発光）です（ 51）。

撮影可能コマ数
撮影可能コマ数は、内蔵メモリまたは SD カードの残量や、画像モード（ 83）によって異なります。

バッテリーチェック表示について

表　示	意　味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの残量は充分です。	撮影できます。
（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。バッテリー交換の準備をしてください。	撮影できますが、スピードライトの充電中は、液晶モニタが消灯します。
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーまたは新品の電池と交換してください。	撮影できません。

- バッテリーの残量がなくなると、電源ランプがゆっくりと点滅し、「電池残量がありません」という警告メッセージが表示されます。

メモリ残量について

「メモリ残量がありません」という警告メッセージ（131）が表示されたときは、内蔵メモリまたは SD カードの残量がないため、撮影できません。このようなときは、次のいずれかの方法で対処してください。

- 画像モードを画像サイズの小さいモードに変更する（条件によっては撮影できない場合もあります）（83）。
- 新しい SD カードに交換する（20）。
- SD カードをカメラから取り外し、内蔵メモリを使用する（20）。
- 内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像を削除する（31、33、100）。

意図的に工夫して撮影するには

（オート撮影）モードでは、MENU ボタンを押すことによって、ホワイトバランスや輪郭強調、連写など、撮影者が意図的に工夫して撮影できる 9 種類の撮影メニューを設定できます。詳しくは撮影メニューの各項目（81）をご覧ください。

2. カメラを構え、構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。
- 液晶モニタを見ながら構図を決める場合は A のように、電子ビューファインダーをのぞきながら撮影する場合は B のように構えます。撮影状況に応じて、液晶モニタと電子ビューファインダーを使い分けてください (16)。

カメラを構えるときのご注意

カメラ前面のレンズやスピードライト発光部、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないよう、充分に注意してください。

2 構図を決めます。

- 写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。
- ズームボタン（W T）を押すことによって、撮影する範囲を変更することができます。

撮影の基本ステップ

暗い場所で撮影するときの液晶モニタの表示

液晶モニタを使用して暗い場所で撮影する場合、画面を見やすくするために通常の撮影時にくらべてザラついた表示になることがあります。

電子ビューファインダーの視度調節

電子ビューファインダーの視度が合わず、被写体が見えにくい場合には、電子ビューファインダーの視度を調節することができます。被写体がもっともよく見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください。

電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを操作するときは、誤って指で目を傷つけないように注意してください。

ズームボタンの使い方

このカメラは、8.3 倍の光学ズームを装備しています。ズームボタン（W T）を押すことによって、被写体の大きさを変更することができます。

- W ボタンを押すと、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。
- T ボタンを押すと、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。

画面上部のズーム表示はズームの量を表します。

ズームボタンには **2 スピードズーム**機能を搭載しています。ズームボタンを半押しすると「標準スピード」でズーミングし、深く押し込むと「高速スピード」でズーミングします。

標準スピードズーム

高速スピードズーム

光学ズームを最も望遠側にして、さらに T ボタンを約 1 秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（8.3 倍）の約 4 倍（合計約 33 倍）まで拡大することができます。

電子ズーム時

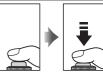
- 電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで W ボタンを押し続けてください。
- 電子ズーム使用時は、ズームボタンを半押ししても深く押し込んでも、ズーミング速度は一定のまま変わりません。

電子ズームについてのご注意

電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

3. ピントを合わせて撮影します

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます（ 17）。
- （オート撮影）モードでは、液晶モニタまたは電子ビューファインダーの中央に映っている被写体にピントが合います（初期設定の場合。AFエリア選択： 94）。ズーム位置が広角側の場合、レンズから 0.4m 以上（望遠側の場合は 1.8m 以上）離れた被写体にピントが合います。

AF表示　スピードライト表示

シャッターボタンを半押ししたときの AF 表示、スピードライト表示の意味は次のとおりです。

状態		意味
AF表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	赤色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。
スピードライト表示	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、スピードライトが発光します。
	赤色点滅	スピードライトは充電中です。
	非表示	スピードライトは発光しません。

2 半押ししたまま、ゆっくりとシャッターボタンを最後まで押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと最後まで押し込んでください。

画像記録中のご注意

- 撮影画面に ⌛ マークが表示されているときや、IN / SD（内蔵メモリ / SD カード表示）アイコンが点滅しているときは、画像を記録中です。SD カードを取り出したり、バッテリーや専用 AC アダプタを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れたりする場合があります。
- 撮影画面に ⌛ マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。

AF 補助光

COOLPIX4800 は、AF 補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、AF 補助光が自動的に照射され、オートフォーカスでのピント合わせを可能にします。

- AF 補助光が届く範囲は、望遠側で約 1.0 ～ 1.5m、広角側で約 0.4 ～ 2.0m です。
- 次の場合、AF 補助光は照射されません：
  - ・シーンモード（36）の（ポートレート）、（風景）、（スポーツ）、（夜景ポートレート）、（トワイライト）、（夜景）、（クローズアップ）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）にセットした場合。
  - ・撮影メニューの **AF エリア選択**（94）を**マニュアル**にセットし、中央以外の AF エリアを選択した場合。

撮影モードで画像を削除するには

撮影モード時（メニュー画面表示時はのぞく）に 🗑 ボタンを押すと、液晶モニタに削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの ▽を押して**はい**を選択し、Ⓔ を押すと、液晶モニタに表示されている画像が削除され、撮影モードに戻ります。

- **いいえ**を選択して Ⓔ を押すと、画像は削除されずに撮影モードに戻ります。

撮影の基本ステップ

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

- 非常に暗い被写体（AF 補助光範囲外、または AF 補助光非照射時）
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- コントラストがない被写体（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

構図を変えて撮影する（AF/AE ロック撮影）

AF/AE ロック撮影は、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を固定したまま、構図を変えて撮影する方法です。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したい場合や、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合に便利です。

1 ピントを合わせます。

写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。

2 AF 表示を確認します。

ピントが合うと、AF 表示が点灯します。

3 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。

- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。
- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指をはなし、ピントを合わせなおしてください。

4 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

4. 撮影した画像を確認します（1 コマ再生モード）

1 ▶ ボタンを押します。

2 撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

- マルチセレクターの ◁または △を押すと前画像を、▷または ▽を押すと次画像を見ることができます。画像を早送りしたい場合は、マルチセレクターを押し続けてください。
- 記録した画像をすばやく表示するために、表示を切り換えた直後は画像が粗くなることがあります。
- 1 コマ再生モードを終了して撮影モードに戻る場合は、もう一度 ▶ ボタンを押してください。

▶ ボタンによる電源 ON

電源が OFF の状態で、▶ ボタンを 1 秒以上押し続けた場合は、1 コマ再生モードで電源が ON になります。もう一度 ▶ ボタンを押すと、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

表示されている画像を削除するには

1

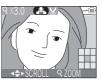
🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。

2

マルチセレクターの ▽を押して、**はい**を選択します。

⏎ を押すと表示中の画像が削除されます。

- **いいえ**を選択して ⏎ を押すと、表示中の画像は削除されずに、1 コマ再生モードに戻ります。

撮影の基本ステップ

クイック拡大

1 コマ再生モード時に ⓘ を押すと、画像が 3 倍に拡大表示される「クイック拡大モード」になります。撮影した画像のピントの状態などを液晶モニタで確認することができます。

1

1 コマ再生モード時にマルチセレクターの△、▽、◁、▷を押して、クイック拡大したい画像を液晶モニタに表示します。

2

ⓘ を押すと、画像が拡大表示されます。画像は縦横 3 画面ずつの大きさに拡大され、液晶モニタには中央の 1 画面が表示されます。

3

他の部分を見たい場合は、画面の右下に表示されるガイドを参考に △、▽、◁、▷を押して、表示される部分を切り換えてください。

4

ⓘ を押すと、1 コマ再生モードに戻ります。

クイック拡大中にズームボタン（W T）を押すと、拡大表示モード（62）になり、自由に倍率を変更することができます。

画像の再生について

画像再生の詳細については、「いろいろな再生」（61）をご覧ください。

ファイル名とフォルダ名

COOLPIX4800 で撮影した画像や動画、録音した音声は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます。最初の 4 文字は識別子を表し、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの画面には表示されません。パソコンに転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、ファイルのタイプを示す拡張子がつきます（例：DSCN0001.JPG）。

ファイルのタイプ		識別子	拡張子	
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	33
	動画	DSCN	.MOV	56
編集した画像	トリミングで作成した画像	RSCN	.JPG	63
	スモールピクチャー	SSCN	.JPG	105
録音した音声	音声メモ	DSCN RSCN ※1 SSCN ※2	.WAV	65

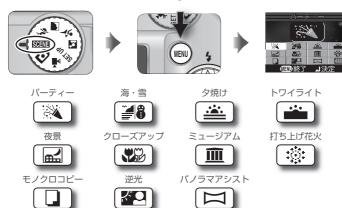
※1 トリミングで作成した画像に音声メモを付けた場合
※2 スモールピクチャーに音声メモを付けた場合

- ファイルを保存するフォルダはカメラが自動的に作成し、フォルダ名には 3 桁のフォルダ番号がつきます（例：100NIKON）。ひとつのフォルダ内のファイル数が 200 個に達すると、そのフォルダ番号に 1 を加えた新しいフォルダが自動的に作成されます（例：100NIKON → 101NIKON）。ただし、パノラマアシストモード（48）では、撮影のたびに「P_XXX」フォルダ（例：101P_001）が新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます。また、簡易インデックス画像（111）は「INDEX」フォルダ（例：101INDEX）に保存されます。
- フォルダ内のファイル番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的に新しいフォルダを作成し、そのフォルダ内で再び 0001 から連番をつけます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合には、内蔵メモリまたは SD カードの残量に余裕があっても、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリまたは SD カードを初期化（122）してください。
- 画像再生時に最初に表示される画像は、番号が最も大きいフォルダの中の、ファイル番号が最も大きい画像です。

シーンモードで撮影するには

COOLPIX4800には、さまざまな撮影シーンに合わせて、カメラを最適な状態に設定する「シーンモード」が用意されています。4種類の「アシスト機能付きシーンモード」と11種類の「シーンモード」から、撮影状況に合ったモードを選択するだけで、シーンに合った撮影が簡単に楽しめます。

アシスト機能付きシーンモード（37～43）

モードダイヤルで選択します。

- ポートレート
- 風景
- スポーツ
- 夜景ポートレート

シーンモード（44～50）

モードダイヤルを SCENE にセットした後、MENU ボタンを押して選択します。

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、（オート撮影）モードで撮影することをおすすめします。

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルでアシスト機能付きシーンモードを選択します。

アシスト機能付きシーンモードでは、画面に表示されるガイドの位置に被写体を合わせることで、ピントや露出の合った撮影が可能です。アシスト機能を使用する場合は、次の手順で撮影してください。

1

モードダイヤルをアシスト機能付きシーンモードに合わせ、MENU ボタンを押すと、アシスト機能の選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押して使用するアシスト機能を選択し、↵ を押します。

3

MENU ボタンを押すと、画面にガイドが表示されます。

4

表示されたガイドに被写体を合わせて、撮影します。

アシスト機能付きシーンモード時の機能制限について

- 選択されているアシスト機能付きシーンモードによって、スピードライトモード（⚡、51）、セルフタイマーモード（、53）、マクロモード（、54）に制限がかかります。詳しくは各アシスト機能付きシーンモードの説明をご覧ください。
- アシスト機能付きシーンモードでは、被写体が暗くても、AF 補助光は（31）は照射されません。

ガイド使用時のご注意

- **被写体をガイドに合わせるときは、周りの状況や足もとをご確認ください。**
- ガイドは目安としてご使用ください。被写体をガイドに正確に合わせる必要はありません。

ポートレート

人物を撮影する場合に適しています。人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

ポートレートモードでは次のアシスト機能が選択できます。

ポートレート

画面にガイドは表示されません。画面に表示された 5 つの AF エリアから選択した AF エリアを使用してピントを合わせます。被写体に合わせて AF エリアを選択してください。

人物左

人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。

• 画面に表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

人物右

人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。

• 画面に表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

ウエストショット

人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

• 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

ツーショット

2 人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

• 画面に表示される 2 つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。

縦位置

人物を縦位置で撮影する場合に適しています。

• 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

	(赤目軽減自動発光) (全モードに変更可能)		OFF にセットされます (ON に変更可能)		OFF に固定

ポートレートモードでは、アシスト機能の選択画面で「ISO 感度」と「画像モード」を設定できます。

ISO 感度設定

ISO 感度の設定は**感度アップ**と**感度固定**の 2 種類から選択できます。**感度アップ**にセットすると、暗い被写体や遠くの被写体の撮影時には自動的に感度が上がり、手ブレを軽減することができますが、一方で撮影画像がザラつきやすくなります。画質優先で撮影したい場合は**感度固定**を選択してください。

ISO 感度	内容
A-ISO 感度アップ（初期設定）	被写体が暗い場合などに、自動的に ISO 感度を上げます。感度が上がっているときは、撮影画面に ISO（感度変更）アイコンが表示されます。
50 感度固定	ISO50 相当の感度で撮影します。

画像モード

画像モードは 4M★ **高画質 (2288★)**、4M **標準 (2288)**、2M **エコノミー（1600)**、PC **パソコン (1024)**、TV **TV（640)** の 5 種類から選択できます (83)。

AF エリアの選び方

- アシスト機能を**ポートレート**に設定した場合、5 つの AF エリアと AF エリア選択ガイドが画面に表示されます。マルチセレクターの ⏎ を押すと、AF エリアを選択できる状態になり、現在設定されている AF エリアが赤色で表示されます。△、▽、◁、▷を押して被写体がある AF エリアを選択して ⏎ を押すと、AF エリアが設定されてグレーで表示されます。AF エリアを変更したい場合は、再度 ⏎ を押して変更してください。

AF エリア（グレー表示） → AF エリア選択可能状態（赤色表示） → 設定終了（グレー表示）

- AF エリアの選択中には、スピードライトモード、露出補正、セルフタイマーモードは設定できません。⏎ を押して AF エリアの選択可能状態を解除してから各モードの設定を行ってください。

風景

風景を撮影する場合に適しています。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して、鮮やかな色の画像に仕上げます。風景を背景にして人物を撮影する場合にも適しています。

風景モードでは次のアシスト機能が選択できます。

風景

画面にガイドは表示されません。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

山

遠くの山並みを撮影する場合に適しています。

- 画面に上下 2 本のガイドラインが表示されます。山の稜線が上側の黄色い波形のガイドに重なるように構図を合わせます。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

建物

建物を撮影する場合に適しています。

- 構図を合わせやすいように、格子状のガイドを表示します。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

	（発光禁止）に固定		OFF にセットされます（ON に変更可能）		OFF に固定

左背景

背景を左に、人物を右に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 人物にピントと露出を合わせます。

右背景

背景を右に、人物を左に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 人物にピントと露出を合わせます。

	AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）		OFF にセットされます（ON に変更可能）		OFF に固定

シーンモード

風景モードでは、アシスト機能の選択画面で「AE-BSS」と「画像モード」を設定できます。

「AE-BSS」機能とは、シャッターボタンを押すと、露出を変えながら 5 コマを連続して撮影し、その中から、露出オーバーによる白とびや露出不足による黒つぶれが最も少ない画像をカメラが自動的に 1 コマだけ選択して記録する機能です。

「白とび」「黒つぶれ」とは

- 白とび：露出オーバーが原因で、明るい部分の階調（明るさの違い）が失われて真っ白になった状態です。
- 黒つぶれ：露出不足が原因で、暗い部分の階調が失われて真っ黒になった状態です。

AE-BSS

AE-BSS の設定は次の 2 種類から選択できます。

AE-BSS	内　容
ON	AE-BSS 機能を使用します。
OFF（初期設定）	AE-BSS 機能を使用しません。

AE-BSS が **ON** のときは、シャッターボタンを押すと、5 コマ続けて撮影します。撮影が終わるまで、手ブレしないようカメラをしっかり構えてください。また、スピードライトモードは自動的に ⊛（発光禁止）に固定されます。

画像モード

画像モードは **4M* 高画質 (2288★)**、**4M 標準 (2288)**、**2M エコノミー (1600)**、**PC パソコン (1024)**、**TV TV (640)** の 5 種類から選択できます (83)。

シーンモード

スポーツ

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体を捉えた、躍動感のあるスポーツ写真を撮影したい場合に適しています。連続撮影や、シャッターチャンスを優先した撮影が行えます。
スポーツモードでは次のアシスト機能が選択できます。

スポーツ

シャッターボタンを深く押し続けることにより、約 1.5 コマ / 秒で連続撮影できます。

- 画像モードが 4M **標準 (2288)** の場合、連続で約 8 コマ撮影できます。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

スポーツ観戦

シャッターチャンス優先のモードです。

- カメラから約 5m ～∞（ズームの広角側）/ 約 6m ～∞（ズームの望遠側）の距離でピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- シャッターボタンを押し続けることで連写が可能です。連続撮影可能コマ数は「スポーツ」と同じです。

スポーツマルチ連写

シャッターボタンを押し込むと、約 2 秒間で 16 コマの画像を撮影します。画像は 4 × 4 コマに並べられ、1 枚の 2M **エコノミー(1600)** 画像として記録されます。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

	（発光禁止）に固定		**OFF** に固定		**OFF** に固定

ISO 感度、画像モードの設定

アシスト機能の選択画面で「ISO 感度」と「画像モード」を設定できます (39)。

シーンモード

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影したい場合に適しています。背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出のあった撮影が可能です。

アシスト機能の内容はポートレートモード (38) と同じです。

夜景ポートレート
ガイドは表示されません。選択したAFエリア (39) を使用してピントを合わせます

人物左
ガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

人物右
ガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

ウエストショット
ガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

ツーショット
2つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。

縦位置
ガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

	(赤目軽減強制発光) に固定		**OFF** にセットされます（**ON** に変更可能）	マクロ	**OFF** に固定

- 手ブレしないように、三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- シャッタースピードが遅い場合は、画像に星状のノイズが生じることがあります。このような場合は、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常の2倍以上かかります。

ISO感度、画像モードの設定

アシスト機能の選択画面で「ISO感度」と「画像モード」を設定できます (39)。

SCENE シーンモード

11 種類のシーンモードが選択できます。選択した「シーン」に合わせて、カメラの各種設定が最適な状態にセットされます。

シーンモードの選択方法は次のとおりです。

1

モードダイヤルを SCENE に合わせます。

2

MENU ボタンを押すと、シーンモードの選択画面が表示されます。

3

マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押して、シーンモードを選択します。

- 選択されているシーンモードのアイコンが画面上部に大きく表示されます。
- シーンモードの変更をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

を押すと、選択したシーンモードにセットされます。

5

MENU ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- セットされたシーンモードのアイコンが画面の左上に表示されます。

シーンモードでの画像モード設定について

シーンモードの選択画面で「画像モード」(83) を設定できます。画像モードのアイコンを選択して を押すと、画像モードのリストが表示されます。セットしたい画像モードを選択して を押すと、選択したモードにセットされます。

パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトを活かしてきれいに写すなど、被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

スピードライトモード	マクロモード	手ブレ度合い表示
（赤目軽減自動発光） （全モードに変更可能）	OFF に固定	★ カメラをしっかり持ってください

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

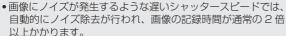
スピードライトモード	マクロモード	手ブレ度合い表示
AUTO（自動発光） （全モードに変更可能）	OFF に固定	—

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見たままに美しく表現します。

- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

スピードライトモード	マクロモード	手ブレ度合い表示
（発光禁止） （全モードに変更可能）	OFF に固定	★ カメラをしっかり持ってください

表の中の記号について

：スピードライトモード（51）
：マクロモード（54）
：手ブレ度合い表示

画面に（手ブレ警告）アイコンが表示された場合は、被写体が暗いためシャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすい撮影状況です。表に示した手ブレ度合い表示に応じて、次のように対処してください。

- ★：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと持ってください。
- ★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中で、風景を見たままに撮影します。

- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定　 OFF に固定　 カメラをしっかり持ってください

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定　 OFF に固定　 三脚の使用をおすすめします

感度表示について

ISO（感度変更）アイコンが表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べて多少ザラついた画像になります（91）。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などを接写したいときに使用します。

- 撮影画面に アイコンが緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約 1cm までの被写体にピントを合わせることができます。ズーム位置によって最短撮影距離は変化します。光学ズームの可動範囲には、望遠側で制限がかかります。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- 広角側で約 0.4m、望遠側で約 1m よりも近距離でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像を確認してください。
- ピントを合わせる AF エリアを５ヶ所から選択できます。選択方法については、「ポートレート」モードの「AF エリアの選び方」（39）をご覧ください。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）

 ON に固定

 カメラをしっかり持ってください

ミュージアム

スピードライトの発光が禁止されている美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- 「**BSS**」（89）が自動的に「**ON**」になります。シャッターボタンを押し続けている間、最高で 10 コマを連続撮影し、その中からもっともシャープな 1 コマをカメラが自動的に選択、記録します。
- 博物館、美術館等によっては撮影そのものが禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定

 OFF（**ON** に変更可能）

 カメラをしっかり持ってください

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- セルフタイマー、露出補正は使用できません。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定

 OFF に固定

三脚の使用をおすすめします

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影できます。
- マクロモード（54）を併用すると、近くのものを撮影できます。
- 撮影するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。
- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

	（発光禁止）（全モードに変更可能）		OFF（ON に変更可能）		—

逆光

内蔵スピードライトが常に発光し、逆光状態のときに、人物が影にならず美しく撮影できます。
- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

	（強制発光）に固定		OFF に固定		—

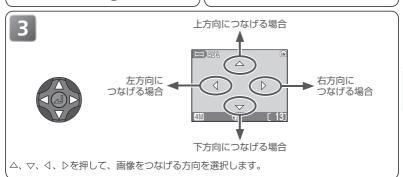
パノラマアシスト （49）

複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。撮影した複数の画像をパソコンに取り込み、パノラマ画像作成ソフトを使用して 1 つの画像に合成する場合に便利です。
- 1 コマ目を撮影してから一連の撮影が終わるまでは、スピードライトモード（51）、マクロモード（54）、露出補正値（55）は変更できません。ズーム操作（29）もできません。
- 画面の中央にある被写体にピントが合います。
- 被写体が暗い場合、AF 補助光が照射されます。

	（発光禁止）（全モードに変更可能）		OFF（ON に変更可能）		—

シーンモード

パノラマアシストモードの撮影手順

1

シーンモードの選択画面で、マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押して ⌶（パノラマアシスト）を選択し、Ⓞ を押します。

2

MENU ボタンを押すと、パノラマ方向表示（▷）が黄緑色で表示されます。

3

△、▽、◁、▷を押して、画像をつなげる方向を選択します。

4

Ⓞ を押すと、パノラマ方向が決定し、パノラマ方向表示が白色に変わります。

- パノラマ方向を変更したい場合は、もう一度 Ⓞ を押します（パノラマ方向表示が白色から黄緑色に変わります）。再度マルチセレクターでパノラマ方向を選択し、Ⓞ を押して設定します。

露出固定表示

パノラマアシストモードに設定すると、撮影画面に AE-L アイコンが黄色で表示されます。1 コマ目を撮影すると、露出とホワイトバランスがその条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。一連の撮影が終わるまで、同じ条件で撮影を行います。

5

シャッターボタンを押して 1 コマ目の画像を撮影します。

6

撮影した画像の約 1/3 が、パノラマ方向の反対側の撮影画面上に、半透明で表示されます。たとえば、手順 3 で ▷（右）方向を選択した場合は、撮影画面の左端に、先に撮影した画像の右端約 1/3 が半透明で表示されます。

先に撮影した画像の絵柄と撮影画面の絵柄が重なるように、構図を合わせます。

8

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。7、8 の手順を繰り返して、パノラマ画像を構成するすべての画像を撮影します。

Ⓞ を押すと、パノラマアシスト撮影が終了します。

- モードダイヤルを切り換えたり、オートパワーオフ機能が作動したときも、パノラマアシスト撮影は終了します。

パノラマアシストモードで撮影された画像の保存

パノラマアシストモードで撮影を行うたびに、「P_XXX」フォルダ（例：101P_001）が新しく作成され、一連の画像が保存されます。

パノラマアシストモード撮影のご注意

- スピードライトモード（51）、セルフタイマー（53）、マクロモード（54）、露出補正値（55）は、パノラマ方向を設定した後にセットできます。
- 1 コマ目を撮影してから一連の撮影を終了するまでは、パノラマ方向、スピードライトモード、マクロモード、露出補正値、画像モード（83）は変更できません。ズーム操作や画像の削除もできません。

三脚の使用をおすすめします

パノラマアシストモードで撮影する場合は、三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

暗い場所や逆光で撮影するには－スピードライトの使い方

撮影目的や状況に合わせて、5 種類のスピードライトモードを選択できます。

設　定	内　容	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	スピードライトが発光する前に、あらかじめ数回少量発光して、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	• ポートレート撮影時に使用します（被写体の人物に、スピードライトの少量発光をしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトは発光しません。	• 暗い場所で自然光で撮影したい場合、またはスピードライトの使用が禁止されている場所で撮影するときに設定します。 • （手ブレ警告）アイコンが表示される場合は、手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	昼間の屋外撮影で顔に影がかかる場合や、逆光での撮影時などに使用します。
スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	• 夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景と近くの人物の両方をきれいに写したい場合に使用します。 • （手ブレ警告）アイコンが表示された場合は、手ブレに注意して撮影してください。

1

撮影時にマルチセレクターの △（⚡）を押すと、スピードライトモードのリストが表示されます。

2

△または ▽を押して、モードを選択します。

3

Ⓞ を押すと、選択したスピードライトモードにセットされます。画面にはセットされたスピードライトモードのアイコンが表示されます。

• Ⓞ を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

いろいろな撮影

スピードライト使用時のご注意

- スピードライト発光部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- BSS（89）が **OFF** 以外の場合および**連写**モード（87）を**単写**以外に設定した場合は、スピードライトモードが自動的に（発光禁止）になります。
- スピードライトを使用して撮影すると、スピードライトの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、スピードライトモードを（発光禁止）にして撮影するか、ズームの望遠側で撮影することをおすすめします。

スピードライトモードの設定・記憶について

- （オート撮影）モードの場合：スピードライトモードは、電源を OFF にしても、前回の撮影時に設定していたモードが記憶されます。**設定クリア**（124）を行った場合は、初期設定の AUTO（自動発光）に戻ります。
- スピードライトモードを変更できるシーンモード（36）の場合：電源を OFF にしたり、**設定クリア**を行うと、シーンモードごとの初期設定に戻ります。

調光範囲について

調光範囲（スピードライトの光が充分に届く距離）は、広角側で約 0.4 ～ 4.3m、望遠側で約 1.0 ～ 2.6m です。広角側で約 0.4m、望遠側で約 1.0m よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。近距離撮影時にはテスト撮影をして、液晶モニタで画像を確認してください。

バッテリー残量が少ないとき

撮影画面にバッテリーチェック表示（）が点灯している状態でスピードライトを使用した場合、スピードライトの充電中は液晶モニタが消灯します。

感度表示について

暗い場所でスピードライトモードが（発光禁止）にセットされているときは、シャッタースピードの低下による手ブレを防ぐために、カメラが自動的に感度を上げる場合があります。感度が上がっているときは、画面に ISO（感度変更）アイコンが表示されます。

ISO（感度変更）アイコンが表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べて多少ザラついた画像になります。

暗い場所で撮影するときのご注意

スピードライトモードを（発光禁止）にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、画面に（手ブレ警告）アイコンが表示されます。三脚などでカメラを安定させて撮影してください。また、このような状況で撮影された画像には、ノイズが発生する場合があります。

自分も一緒に写るには－セルフタイマーの使い方

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に、自動的にシャッターがきれます。記念撮影など撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたいときなどに便利です。

1

撮影時にマルチセレクターの ◁ (セルフタイマー) を押すと、セルフタイマーモードのリストが表示されます。

2

△または ▽を押して、セルフタイマー ON を選択します。

3

決定ボタン を押すとセルフタイマーモードが ON にセットされ、画面に セルフタイマー アイコンが表示されます。

- 決定ボタン を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

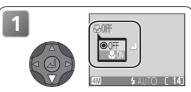
4

構図を決めたら、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を合わせます。

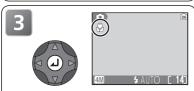
5

シャッターボタンを半押ししたままさらに深く押し込むと、セルフタイマーが作動します。約 10 秒後、自動的にシャッターがきれます。

- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が画面に表示されます。
- 作動中のセルフタイマーを停止するには、もう 1 回シャッターボタンを押すか、マルチセレクターの ◁ (セルフタイマー) を押してください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約 1 秒前に点灯します。

セルフタイマー使用時のご注意

- セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。
- セルフタイマーを ON にすると、撮影メニューの**連写**モード (87) は自動的に**単写**に設定されます。**BSS** (89) は自動的に **OFF** に設定されます。

手軽に接写するには─マクロモードの使い方

マクロモードを ON にすると、最短約 1cm まで被写体に近づいて近接撮影することができます。

1

撮影時にマルチセレクターの ▽（マクロ）を押すと、マクロモードのリストが表示されます。

2

△または ▽を押して、マクロ ON を選択します。

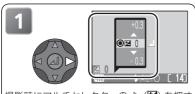
3

決定ボタン を押すとマクロモードがセットされ、画面に マクロ アイコンが表示されます。

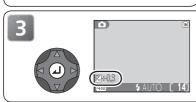
- 決定ボタン を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

4

構図を決めます。

- マクロ アイコンとズーム表示が緑色に表示されるズーム位置では、レンズ前約 1cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- マクロ アイコンとズーム表示が赤色に表示されているときは、約 1m よりも近距離の被写体にピントを合わせることができません。

マクロモードについてのご注意

- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変化します。
- 広角側で約 0.4m（望遠側では約 1m）よりも近距離でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像を確認してください。
- マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- マクロモードやシーンモードの クローズアップ（クローズアップ、47）で被写体に近づいて撮影すると、画像周辺部の解像度が若干低下する場合があります。

露出を補正して撮影するには－露出補正の使い方

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、露出補正の数値を変えることで、画像の明るさを調整できます。露出補正値は－2.0EV から＋2.0EV の範囲で、1/3 ステップごとにセットすることができます。

1

撮影時にマルチセレクターの ▷ (露出補正アイコン) を押すと、露出補正のリストが表示されます。

2

△または ▽を押して、セットしたい露出補正値を選択します。

3

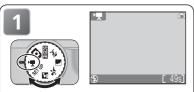
決定ボタン を押すと、露出補正値がセットされ、画面に 露出補正 アイコンと補正値が表示されます。

- 決定ボタン を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。
- 露出補正値を 0 にセットした場合は、露出補正 アイコンと補正値は表示されません。

露出補正をキャンセルするには

露出補正をキャンセルするには、露出補正値を 0 にセットしてください。

露出補正値の選びかた

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）や、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは露出補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）や、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

動画を選択する

COOLPIX4800 では、3 種類の音声付き動画を撮影できます。音声の録音には、カメラの内蔵マイクを使用します。

種類	内容	連続撮影記録時間※ 内蔵メモリ 約 13.5 MB	連続撮影記録時間※ SD カード 256 MB
TV 再生 640	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します（垂直補間方式）。テレビでの表示に適した画像サイズです。	約 24 秒	約 440 秒
カメラ再生 320（初期設定）	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。	約 49 秒	約 880 秒
長時間再生 160	カラーの動画を画像サイズ 160 × 120 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能です。	約 197 秒	約 3520 秒（999 と表示されます）

※ 記載されている連続撮影記録時間はおおよその目安です。同じ容量でも SD カードの種類によって連続撮影記録時間は異なります。内蔵メモリまたは SD カードの残量がなくなるまで連続して撮影できます。

動画モードの設定方法は次のとおりです。

1

モードダイヤルを 🎥 に合わせます。

2

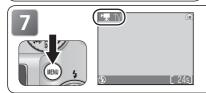
MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

3

マルチセレクターの △または ▽を押して、**動画設定**を選択します。

4

▷を押すと、動画設定の選択画面が表示されます。

5

△または ▽を押して、動画モードを選択します。

- 動画モードの変更をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

6

↵ を押すと、選択した動画モードにセットされます。

- 設定後、動画メニューに戻る場合は ◁を押します。

7

MENU ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- セットされた動画モードのアイコンが画面に表示されます。

動画モードではオートフォーカスの方法（AF-MODE）を設定することができます。

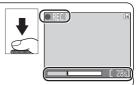
設　定	内　容
シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押するとピント合わせを行い、ピントが合うとAF ロックを行います。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだ時のピントに固定され、撮影中はピント合わせを行いません。
常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。

AF モードを変更する方法は次のとおりです。

マルチセレクターの △または ▽を押して、**AF-MODE** を選択します。

▷を押すと、AF-MODE 選択画面が表示されます。

△または ▽を押して、**シングル AF** または **常時 AF** を選択します。

Ⓞ を押すと、選択した **AF-MODE** にセットされます。

MENU ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

動画を撮影する

1 カメラのモードダイヤルを 🎥 に合わせ、カメラの電源を ON にします。

- 画面の右下には撮影可能コマ数のかわりに、撮影可能な記録時間が表示されます。

2 シャッターボタンを押し込んで、撮影を開始します。

- 撮影中は画面に ● REC アイコンが点滅し、撮影の進行状況を示すインジケータが表示されます。

3 シャッターボタンをもう一度押し込んで、撮影を終了します。

- 内蔵メモリまたは SD カードの残量がなくなった場合は、撮影を自動的に終了します。

動画撮影時のズーム使用

- 動画撮影中は、光学ズームを使用できません。光学ズームを使用したい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズーム位置は固定されます。
- 動画モードでは、電子ズーム（29）は 2 倍まで作動します。

動画のファイル名

動画のファイル名は、新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）に拡張子「.MOV」がつきます（例：DSCN0001.MOV）。拡張子 .MOV の QuickTime ムービーファイルは、パソコンに転送して再生することもできます。

動画撮影についてのご注意

- スピードライトモード（51）は ⚡（発光禁止）にセットされます。
- セルフタイマー（53）、露出補正（55）は使用できません。
- 撮影中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。撮影中の動作音が気になる場合は、**AF-MODE**（58）を初期設定の**シングル AF** に設定して撮影することをおすすめします。
- 連続撮影記録時間の表示は最大 999 までです。999 秒以上撮影できる場合でも 999 と表示されます。

動画を再生する

1 コマ再生モード (☞ 33) 時に、🎞 アイコンがついている画像を表示してマルチセレクターの ⏎ を押すと、動画を再生できます。

- 動画再生画面では画面上部に操作ボタンが表示されます。マルチセレクターの ◁または ▷ でボタンを選択して ⏎ を押すと、以下の操作を実行します。

動画再生中

ボタン	機能	内容
◀◀	巻き戻す	再生中に ◀◀ を選択して ⏎ を押し続けると、動画を巻き戻します。
▶▶	早送りする	再生中に ▶▶ を選択して ⏎ を押し続けると、動画を早送りします。最後まで早送りすると、再生を終了します。
❚❚	再生を一時停止する	再生中に ❚❚ を選択して ⏎ を押すと、再生を一時停止します。
◀❚❚	1 フレーム戻る	一時停止中に ◀❚❚ を選択して ⏎ を押すと、1 フレーム前の画像を表示します。
❚❚▶	1 フレーム送る	一時停止中に ❚❚▶ を選択して ⏎ を押すと、1 フレーム後の画像を表示します。
▶	再生を再開する	一時停止中に ▶ を選択して ⏎ を押すと、再生を再開します。
■	再生を終了する	■ を選択して ⏎ を押すと、動画の再生を終了して、再生画面に戻ります。

動画についてのご注意

動画をダイレクトプリント (☞ 76) することはできません。

音量を調節するには

動画の再生中に (W) または (T) ボタンを押すと、音量を調節できます。(W) ボタンを押すと音量は小さくなり、(T) ボタンを押すと大きくなります。

動画ファイルの削除

動画の再生中に 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △または ▽を押して**はい**を選択し、⏎ を押すと、動画ファイルが削除されます。**いいえ**を選択して ⏎ を押すと、動画ファイルを削除せずに再生画面に戻ります。

カメラで再生する

画像を再生する（1 コマ再生モード）

撮影時に ▶ ボタンを押すと、「1 コマ再生モード」(📖 33) になります。

- 電源が OFF の状態で ▶ ボタンを 1 秒以上押し続けると、1 コマ再生モードで電源が ON になります。
- 1 コマ再生モードで ↵ を押すと、画像が約 3 倍に拡大して表示されます（クイック拡大、📖 34）。

一覧表示する（サムネイル再生モード）

1 コマ再生モードで ▦(**W**) ボタンを押すと、縮小表示された画像（サムネイル画像）が 4 コマ並んで表示される「サムネイル再生モード」になります。

サムネイル再生モードでは次の操作が可能です。

機 能	ボタン	内 容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押して、画像を選択します。
表示コマ数を変更する	▦(**W**) Q(**T**)	• 4 コマ表示時に ▦(**W**) ボタンを押すと、9 コマ表示に切り換わります。 • 9 コマ表示時に Q(**T**) ボタンを押すと 4 コマ表示に、4 コマ表示時に Q(**T**) ボタンを押すと 1 コマ表示（1 コマ再生モード）に切り換わります。
画像を削除する	🗑	🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。△または ▽を押して**はい**を選択し、↵ を押すと、選択した画像が削除されます。 • **いいえ**を選択して ↵ を押すと、画像を削除せずに再生画面に戻ります。 （画面表示：🗑 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ / は い）
1 コマ再生モードに戻る	↵	4 コマ表示または 9 コマ表示を終了して、1 コマ再生モードに戻ります。
サムネイル再生を終了する	▶	サムネイル再生を終了して、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

画像を拡大する（拡大表示モード）

1 コマ再生モード時に 🔍(**T**) ボタンを押すと、表示中の画像を最大約 10 倍まで拡大表示できます。

機　能	ボタン	内　容
画像を拡大表示する	🔍(**T**)	🔍(**T**) ボタンを押すごとに画像を拡大表示します。最大約 10 倍まで拡大できます。拡大表示中は 🔍 アイコンと拡大倍率が液晶モニタに表示されます。
画像の他の部分を表示する	マルチセレクター	マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押すと、押した方向に画像がスクロールし、見たい部分を表示することができます。
拡大倍率を下げる	(**W**)	拡大表示中に (**W**) ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。倍率が 1 倍まで下がると、1 コマ再生モードに戻ります。
1 コマ再生モードに戻る	マルチセレクター	拡大表示中に ↵ を押すと、拡大表示をキャンセルして 1 コマ再生モードに戻ります。
トリミング画像を作成する（63）	シャッターボタン	拡大表示中にシャッターボタンを押すと、画像を表示部分だけにトリミングして、元の画像とは別の画像として保存します。

別の画像を見るときは、1 コマ再生モードに戻ってから、マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押して、画像を選択してください。

拡大表示についてのご注意

動画（ 56）、スモールピクチャー（ 105）は、拡大表示できません。

トリミング

拡大表示中の画像を表示部分だけにトリミング（切り抜き）して、元の画像とは別に新しく画像を作成します。

1

画像を拡大している時に、(W) または (T) ボタンを押して画像を好みの大きさにし、マルチセレクターの △、▽、◁、▷を押してトリミングしたい部分を表示します。

2

シャッターボタンを押すと、トリミングの実行確認画面が表示されます。

3

△ または ▽ を押して、**はい**を選択します。

- **いいえ**を選択すると、トリミングを行わずに 1 コマ再生モードに戻ります。

4

を押すと、トリミングした画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像は元の画像とは別の画像として保存されるので、個別に再生メニュー（96）で設定を変更したり削除したりすることができます。
- トリミングで作成された画像は、JPEG 形式で約 1/8 に圧縮して保存されます。
- トリミングで作成される画像のサイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なサイズをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - ・4M 2288 × 1712　・2M 1600 × 1200　・PC 1024 × 768
  - ・TV 640 × 480　・320 × 240　・160 × 120
- トリミングで作成された画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

トリミングで作成された画像について

- トリミングで作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また、トリミングで作成した画像を削除しても元画像は削除されません。
- 元画像で設定した**転送マーク設定**（103）は、トリミングで作成した画像にも設定されます。
- 元画像で設定した**プリント指定**（74）と**プロテクト設定**（102）は、トリミングで作成した画像には設定されません。
- トリミングで作成された画像のファイル名は、先頭文字「RSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）をつけた名前（拡張子は .JPG）となります（例：RSCN0015.JPG）。

トリミングについてのご注意

- COOLPIX4800 でトリミングした画像を、COOLPIX4800 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンに転送できない場合があります。
- COOLPIX4800 以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、トリミング機能の動作は保証しておりません。
- トリミングで作成された画像、スモールピクチャー（105）、動画（56）をトリミングすることはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードに充分な残量がない場合は、トリミングできません。

音声メモを録音する / 再生する

1コマ再生モード (33) で、[シャッター][マイク] アイコンが表示されている画像には、カメラのマイクを使用して、最長で約 20 秒の音声メモを録音することができます。

機能	ボタン	内容
録音する	シャッターボタン	シャッターボタンを押している間、最長約 20 秒の音声メモを録音できます。シャッターボタンから指をはなすか、約 20 秒経過すると、録音が終了します。 • 音声メモを録音できる画像には、[シャッター][マイク] が表示されます。 • 録音中は ● REC が点滅します。 (画面表示: ● REC / 4M / [20s])
再生する	シャッターボタン	[♪] アイコンが表示されている画像を表示してシャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。もう一度押すか、録音内容が終了すると再生を終了します。
音量を調節する	(W) (T)	音声メモの再生中に (W) または (T) ボタンを押すと、音量を調節できます。(W) ボタンを押すと音量は小さくなり、(T) ボタンを押すと音量は大きくなります。
音声メモ / 画像を削除する	(削除)	音声メモが記録された画像を表示中に、削除 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽を押して**はい**、[♪]、**いいえ**のいずれかを選択し、(決定) を押すと、選択した項目が実行されます。 • **はい**： 画像と音声メモが削除されます。 • [♪]: 音声メモだけが削除されます。 • **いいえ**： 画像と音声メモは削除されません。 (画面表示: 1 枚削除します よろしいですか？ / いいえ / [♪] / はい)

いろいろな再生

録音された音声メモの保存

音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル番号で、拡張子が「.WAV」になります（例：DSCN0015.WAV）。

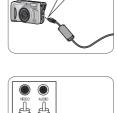
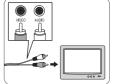
音声メモについてのご注意

- クイック拡大モード（34）、サムネイル再生モード（61）、拡大表示モード（62）では、音声メモの録音や再生はできません。
- 動画（56）には音声メモを録音できません。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、再度音声メモを録音してください。
- 音声メモの録音中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。

音声メモが録音された画像について

音声メモが録音された画像には [♪] アイコンと （音声メモ再生ガイド）が表示されます。

いろいろな再生

テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブル EG-CP14（以下 AV ケーブル）を使用して、撮影した画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を OFF にします。

2 AV ケーブルをカメラに接続します。

- 端子カバーを開け、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。

端子カバーの開け方

3 AV ケーブルを映像機器に接続します。

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続します。

4 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

5 ▶ ボタンを 1 秒以上押して、再生モードでカメラの電源を ON にします。

- 撮影した画像がテレビに表示され、カメラの液晶モニタには何も表示されません。

ビデオ出力について

- COOLPIX4800 とテレビまたはビデオデッキを接続する前に、セットアップメニューの**ビデオ出力**（👁 123）で、ビデオ出力形式をご確認ください（初期設定は NTSC です）。
- セットアップメニューの**ビデオ出力**を PAL に設定している場合、COOLPIX4800 とテレビまたはビデオデッキとの接続中に動画撮影を開始すると、カメラの液晶モニタまたは電子ビューファインダーが点灯して、ビデオ出力は一時停止します。

パソコンで再生する

付属のUSBケーブル UC-E6 と PictureProject ソフトウェアを使用して、カメラで撮影した画像をパソコンに転送して再生できます。画像を転送する前に、PictureProject をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法および画像の転送方法については、クイックスタートガイドおよび PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラからパソコンへ画像を転送するには、次の 2 つの方法があります。

- **カメラの （転送 ） ボタンを使用する方法**
- **PictureProject の［転送］ボタンを使用する方法**

カメラの （転送 ）ボタン

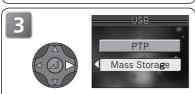
どちらの方法を使用するかは、ご使用のパソコンの OS（オペレーティングシステム）およびカメラとパソコンの USB 通信方式の組み合わせで決まります。USB 通信方式は以下の表を参考にしてセットアップメニューの **USB** で設定してください。初期設定では **Mass Storage** に設定されています。

OS	カメラの （転送 ）ボタン	PictureProject の［転送］ボタン
	USB 通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	Mass Storage または PTP	Mass Storage または PTP
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	Mass Storage	Mass Storage
Mac OS X（10.1.5 以降）	PTP	Mass Storage または PTP

カメラの （）ボタンで画像を転送できない場合

USB の設定が **Mass Storage** の場合、内蔵メモリ内の画像、および書き込み禁止スイッチが「Lock」（21）されている SD カード内の画像は、カメラの （）ボタンで転送できません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。

USB 通信方式の設定方法

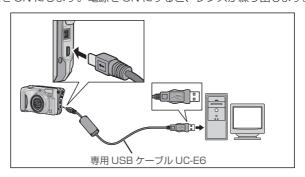
1

モードダイヤルを **SET UP** に合わせると、セットアップメニューが表示されます。

2

マルチセレクターの △または ▽を押して、**USB** を選択します。

3

▷を押すと、USB 設定画面が表示されます。

4

△または ▽を押して、**PTP** または **Mass Storage** を選択します。

5

Ⓞ を押すと、USB 通信方式が設定されます。

専用 USB ケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カメラと起動済みのパソコンを、専用 USB ケーブル UC-E6 で下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源を ON にします。電源を ON にすると、レンズが繰り出します。

Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE) をご使用の場合のご注意

上記の OS をご使用の場合には、セットアップメニューの **USB** を **PTP** に設定しないでください。
USB を **PTP** に設定して、上記 OS のパソコンと接続した場合には、次の要領でパソコンとの接続を外してください。
再度パソコンと接続する場合は、必ず **USB** を **Mass Storage** に変更してから、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professional の場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されるので、「キャンセル (中止)」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Millennium Edition（Me）の場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル (中止)」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98 Second Edition（SE）の場合：

「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル (中止)」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USB ハブについて

USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

カメラとパソコンの接続を外す

USB 通信方式が PTP の場合：
カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

USB 通信方式が Mass Storage の場合：
必ず次の操作を行ってから、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition／Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (E:) を安全に取り外します」を選択してください。

- Windows 2000 Professional の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (E:) を停止します」を選択してください。

- Windows Millennium Edition (Me) の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、「USB ディスクードライブ (E:) の停止」を選択してください。

- Windows 98 Second Edition (SE) の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

※ ドライブ (E:) の「E」はご使用のパソコンによって異なります。

- Mac OS X の場合：
  デスクトップ上の「NO NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

画像をプリントする

内蔵メモリまたはSDカードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントしたり、日付を写し込むことができます。

プリントするには

撮影した画像は、次の方法でプリントすることができます。

プリントする方法	👁
デジタルプリントサービス取扱店に、再生メニューの**プリント指定**で枚数、日付などを設定したSDカードを持ち込み、記録した画像のプリントを依頼する	74
カードスロット付き家庭用プリンタのカードスロットに、再生メニューの**プリント指定**で枚数、日付などを設定したSDカードを装着し、SDカードから直接プリントする	74
専用USBケーブルUC-E6で、PictBridge対応プリンタとカメラを接続し、内蔵メモリまたはSDカードに記録した画像をカメラから直接プリントする	76
内蔵メモリまたはSDカードに記録した画像をPictureProjectを使用してパソコンに転送し、パソコンでプリントする（詳細はPictureProjectリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください）	—

内蔵メモリに記録した画像について

- デジタルプリントサービス取扱店によっては、カメラを持参して内蔵メモリに記録した画像のプリントを依頼できる場合があります。
- 内蔵メモリに記録された画像をSDカードにコピー（👁 107）してプリントする場合、再生メニューの**プリント指定**（👁 74）はSDカードに画像をコピーしてから行ってください。

プリント指定設定時のご注意

- 再生メニューの**プリント指定**（👁 74）を行わずに、デジタルプリントサービス取扱店やカードスロット付き家庭用プリンタでプリントすると、すべての画像が1枚ずつプリントされます。
- **プリント指定**では、プリントする画像やプリント枚数を指定できるほか、撮影情報や撮影日時を写し込むかどうかを設定できます。この設定によって、デジタルプリントサービス取扱店または家庭用のDPOF対応プリンタで指定どおりにプリントすることができます。**プリント指定**の指定どおりにプリントしたい場合は、デジタルプリントサービス取扱店やご使用のプリンタがDPOFに対応しているか、あらかじめご確認ください。

写真に日付を写し込んでプリントするには

日付の写し込みは、次の方法で設定することができます。

設定方法	👁
撮影前にセットアップメニューの**デート写し込み**で設定する	119
再生メニューの**プリント指定**で設定する	74
画像をパソコンに転送し、PictureProject の「印刷の設定：写真情報を印刷」で設定する（詳細は PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください）	—

DPOF とは

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）は、デジタルカメラで撮影した画像をデジタルプリントサービス取扱店や家庭用のプリンタで自動プリントするための記録フォーマットです。

プリント指定とデート写し込みの日付写し込みの違いについて

セットアップメニューの**デート写し込み**（👁 119）と、再生メニューの**プリント指定**（👁 74）で行う日付の写し込みには、次のような違いがあります。

- **デート写し込み**で日付の写し込みを設定する場合：
  - ・撮影前に設定する必要があります。
  - ・日付が画像上に写し込まれます。プリント時には常に日付が写し込まれた状態でプリントされます。ただし、写し込まれた日付は、画像上から消すことができません。
- **プリント指定**で**日付**を設定する場合：
  - ・撮影した後に設定します。
  - ・日付は画像上には写し込まれません。日付の情報は、DPOF の設定ファイルにデータとして記録され、DPOF 対応のプリンタでプリントした場合にだけ、日付が写し込まれます。

プリント指定

プリントする画像の選択、枚数の指定、撮影日時や撮影情報を写し込むかどうかなど、撮影画像をプリントするための設定をあらかじめ行うことができます。

これらの内容を設定した SD カードを、デジタルプリントサービス取扱店に持ち込むか、家庭用の DPOF（73）対応プリンタのカードスロットに装着することによって、指定どおりにプリントすることができます。

1

画像の再生時に MENU ボタンを押して、再生メニューを表示します。

2

マルチセレクターの △または ▽を押して**プリント指定**を選択し、▷を押すと、プリント指定メニューが表示されます。

3

△または ▽を押して、**複数画像選択**を選択します。

- **プリント指定取消**を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

4

▷を押すと、プリント画像選択画面に切り換わります。

5

◁または ▷を押して、プリントしたい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。

6

△を押して、プリント枚数を設定します。

- 設定された画像には 1（枚数）と アイコンが表示されます。

7

必要に応じて、プリント枚数を変更します。

- △を押すとプリント枚数は増え（最高９枚）、▽を押すと減ります。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数と 凸 アイコンが消えるまで、▽を押します。
- 手順５～７を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。

8

↵ を押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。△または ▽を押して、プリント時に印字する情報を選択します。

- 選択した画像すべてに撮影日をプリントする場合は、**日付**を選択して ↵ を押し、**日付**の前の □ に ✔ を入れます。
- 選択した画像すべてにシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、**撮影情報**を選択して ↵ を押し、**撮影情報**の前の □ に ✔ を入れます。
- 選択した項目の ✔ を解除するには、その項目を選択して ↵ を押します。
- プリント指定を終了する場合は、**選択終了**を選択して ↵ を押します。
- プリント指定を変更せずに終了する場合は、MENU ボタンを押します。

プリント指定のリセット

プリント指定を設定した後、再度プリント指定画面（手順８の画面）を表示すると、**日付**と**撮影情報**の設定はリセットされます。もう一度設定してください。

日付のプリントについてのご注意

- プリントされる日付は、撮影時にカメラに設定されていた日時です。撮影後に日時設定を変更しても、すでに撮影した画像の日付は変更されません。撮影前に日時が正しく設定されているかご確認ください（☞ 23）。日時を設定せずに撮影した画像には、日付をプリントできません。
- **プリント指定**による日付のプリントが可能なのは、DPOF 対応プリンタだけです（プリント位置はプリンタに依存します）。ご使用のプリンタが DPOF に対応していない場合は、セットアップメニューの**デート写し込み**機能（☞ 119）をご使用ください（プリント位置は固定です）。**プリント指定**と**デート写し込み**の両方で日付のプリントを指定した場合は、**デート写し込み**が優先されます。

プリント指定表示

プリント指定した画像には、再生時にプリント指定アイコンが表示されます。

ダイレクトプリント

このカメラは、PictBridge のダイレクトプリント機能を搭載しています。カメラと PictBridge 対応プリンタを、付属の USB ケーブル UC-E6 で接続することで、内蔵メモリまたは SD カードに記録した画像を、パソコンを介さずにカメラからの操作で直接プリントできます。

ダイレクトプリントは、次の手順で行います。

Step 1

セットアップメニューで USB 通信方式を PTP に設定する (77)

Step 2

カメラとプリンタを接続する (77)

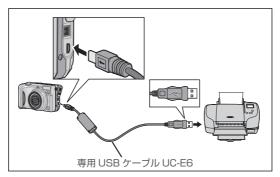
Step 3

ダイレクトプリントする

- ダイレクトプリントする画像を直接選択する (78)
- **プリント指定**で指定した画像をダイレクトプリントする (79)

ダイレクトプリントの前に

- ご使用のプリンタが PictBridge に対応しているか、あらかじめご確認ください。
- 画像をプリントする用紙の種類および用紙サイズは、プリンタ側で設定します。詳しくはプリンタの使用説明書をご覧ください。

PictBridge とは

PictBridge とは、デジタルカメラとプリンタメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンタで直接印刷するための標準規格です。

Step 1 USB通信方式をPTPに設定します

ダイレクトプリントを行う場合、**カメラとプリンタを接続する前に、**セットアップメニューの**USB**でUSB通信方式を**PTP**に設定してください。（初期設定は**Mass Storage**です）（68）。

Step 2 専用USBケーブルでプリンタに接続する

カメラの電源がOFFになっていることを確認して、カメラとプリンタを専用USBケーブルUC-E6で下図のように接続します。

接続が完了したら、カメラとプリンタの電源をONにします。正しく接続されていれば、カメラの液晶モニタに「PictBridge」画面が表示されます。

※ はPictBridgeのロゴです。

いろいろな再生

ダイレクトプリント時の電源について

カメラとプリンタを接続してダイレクトプリントする場合は、確実に電源を供給できるACアダプタEH-54（別売）（19、126）のご使用をおすすめします。バッテリーを使用する場合は、残量が充分あるものをご使用ください。

Step 3 ダイレクトプリントする

ダイレクトプリントする画像を直接選択する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して**プリント**を選択し、▷を押します。

- **キャンセル**を選択すると、画像をプリントせずに、ダイレクトプリントを終了します。

2

△または ▽を押して**プリント選択**を選択し、▷を押すと、プリント画像選択画面に切り換わります。

- **全画像プリント**を選択すると、プリントが始まり、内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像を 1 枚ずつプリントします。

3

◁または ▷を押して、プリントしたい画像を選択します。

- 画面下部に選択した画像が表示されます。

4

△を押して、プリント枚数を設定します。

- 設定された画像には 1（枚数）と 凸 アイコンが表示されます。

5

必要に応じて、プリント枚数を変更します。

- △を押すとプリント枚数は増え（最高 9 枚）、▽を押すと減ります。
- プリント指定を解除するには、プリント枚数と 凸 アイコンが消えるまで、▽を押します。
- 手順 3 ～ 5 を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。

6

Ⓞ を押すと、選択した画像が縮小表示されます。

- △、▽、◁、▷を押して画像を確認します。
- 画像の確認終了後、Ⓞ を押すとプリントの実行画面が表示されます。

△または ▽を押して**プリント実行**を選択し、㊎ を押すと、プリントが始まります。

- プリントする画像を選択しなおしたい場合は、**選択に戻る**を選択してください。
- **キャンセル**を選択すると、画像をプリントせずにダイレクトプリントを終了します。
- プリントを途中でやめる場合は、㊎ を押します。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

8

プリントが終了すると、「印刷終了　カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

「プリント指定」で指定した画像をダイレクトプリントする

あらかじめ再生メニューの**プリント指定** (☞ 74) で、プリントする画像やプリント枚数を設定しておくと、設定どおりにダイレクトプリントすることができます。

1

マルチセレクターの △または ▽を押して**DPOF プリント**を選択し、▷を押します。

- **キャンセル**を選択すると、画像をプリントせずにダイレクトプリントを終了します。

2

△または ▽を押して**画像の確認**を選択します。

- **キャンセル**を選択すると、画像をプリントせずにダイレクトプリントを終了します。

3

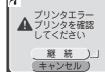
Ⓔ を押すと 、**プリント指定**で指定した画像が縮小表示されます。

- △、▽、◁、▷を押して画像を確認します。
- 画像の確認終了後、Ⓔ を押すとプリントの実行画面が表示されます。

4

△または ▽を押して**プリント実行**を選択し、Ⓔ を押すと、プリントが始まります。

- **キャンセル**を選択すると、画像をプリントせずにダイレクトプリントを終了します。
- プリントを途中でやめる場合は、Ⓔ を押します。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

5

プリントが終了すると、「印刷終了　カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。

DPOF プリントについてのご注意

- **プリント指定**を設定していない場合は、**DPOF プリント**を選択できません。
- **プリント指定**で**日付**と**撮影情報**を印刷するように設定しても、ダイレクトプリント時にはこれらの情報はプリントされません。

エラーメッセージが表示された場合

プリント中にエラーメッセージが表示された場合は、プリンタを確認してください。エラーの原因を取り除いた後、マルチセレクターの △または ▽を押して**継続**を選択し、Ⓔ を押すとプリントを再開します。**キャンセル**を選択すると、その時点でプリントを中止します。

撮影メニュー

モードダイヤルを [カメラ] (オート撮影) モードに合わせているときに MENU ボタンを押すと、画面に撮影メニューが表示されます。

撮影メニューでは、以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内　容	
画像モード	画像サイズと画質を選択します。	83
ホワイトバランス	照明に合わせてホワイトバランスを調整します。	85
連写	撮影方法を単写 (1 コマ撮影)、連写、マルチ連写、サーキュラー連写の中から選択します。	87
BSS	手ブレの影響が少ない画像や露出が適正な画像を、カメラが自動的に選択して記録する機能を設定します。	89
ISO 感度設定	撮影目的に応じて感度を変更します。	91
階調補正	記録する画像のコントラストを設定します。	92
輪郭強調	撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。	93
AF エリア選択	ピントを合わせる AF エリアを選択します。	94
ピクチャーカラー	記録する画像の色調を変更します。	95

初期設定に戻すには

撮影メニューで設定した内容を初期設定に戻すには、セットアップメニューの**設定クリア** (124) を行ってください。

撮影メニューの設定方法

モードダイヤルを 📷 に合わせます。

MENU ボタンを押します。

- 撮影メニューが表示されます。

マルチセレクターの △または ▽を押して、設定したい撮影メニューを選択します。

▷を押して、詳細項目の設定画面を表示します。

△または ▽を押して、設定したい項目を選択します。

↵ を押すと、選択した項目が設定されます。

撮影メニューを終了して撮影画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

4M 画像モード

デジタルカメラで撮影された画像は、画像ファイルとして記録されます。画像ファイルの大きさは、画像サイズと画質（画像の圧縮率）によって決まります。このカメラでは、画像サイズと画質を組み合わせた画像モードを、次の5種類から選択できます。目的に合った画像モードを選択することで、内蔵メモリやSDカードを有効に利用できます。

画像モード	画像サイズ（ピクセル） 圧縮率	内容	プリント時のサイズ※
4M★ 高画質 (2288★)	2288 × 1712 約 1/4	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。	約19 × 14cm
4M 標準 (2288)	2288 × 1712 約 1/8	標準的な画質です。通常の撮影にはこの画像モードが適しています。	約19 × 14cm
2M エコノミー (1600)	1600 × 1200 約 1/8	標準よりも画像サイズが小さいため、より多くの撮影が行えます。	約14 × 10cm
PC パソコン (1024)	1024 × 768 約 1/8	パソコンのモニタに表示する場合に適しています。	約9 × 7cm
TV TV (640)	640 × 480 約 1/8	電子メールやホームページに利用する場合や、テレビ画面に表示する場合に適しています。	約5 × 4cm

※ 出力解像度を300dpiに設定した場合のサイズです。ピクセル数÷出力解像度（dpi）× 2.54cmで計算しています。
撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズは、プリンタの出力解像度によって変わります（解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります）。

シーンモードでの「画像モード」設定

シーンモードでも「画像モード」を設定できます（39、41、44）。

画像モードと撮影可能コマ数について

内蔵メモリやSDカードに記録できるコマ数は、画像モードによって異なります。各画像モードで、内蔵メモリ（約13.5MB）および256MBのSDカードのそれぞれに記録できるコマ数、および画像のファイルサイズのおおよその目安は次のとおりです。撮影可能コマ数は、同じ容量でもSDカードの種類や、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。

画像モード	内蔵メモリ（約13.5MB）	SDカード（256MB）	1コマ当たりのファイルサイズ
4M★ 高画質（2288★）	約7コマ	約125コマ	約1.9MB
4M 標準（2288）	約14コマ	約250コマ	約1.0MB
2M エコノミー（1600）	約27コマ	約480コマ	約500KB
PC パソコン（1024）	約57コマ	約1035コマ※	約230KB
TV TV（640）	約123コマ	約2220コマ※	約110KB

※ 撮影画面には「999」と表示されます。

画像サイズについて

- 画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数が減少しますが、大きくプリントするには適しています。
- 画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなるため、電子メールで送る場合やホームページで使用するのに適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントサイズが小さくなります。

画質と圧縮について

画像を記録する際に、処理を施して画像のファイルサイズを小さくすることを圧縮といいます。

- 圧縮率を高くすると、ファイルサイズが小さくなり、記録できる画像コマ数は増加しますが、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。
- 圧縮率を低くすると、ファイルサイズが大きくなり、記録できる画像コマ数は減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

画像モード表示

設定した画像モードは、画面の左下に表示されます。

A-WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など光源の色に関係なく、白い被写体は白く見えます。これに対してデジタルカメラでは、光源の色に合わせて白色の調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

A-WB オートで意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、**A-WB オート**以外のホワイトバランスに設定してください。

設定	内容
A-WB オート	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット	撮影者が選択した白やグレーの被写体にホワイトバランスを合わせます（86）。
太陽光	太陽光での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。

PRE プリセットホワイトバランス

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。

ホワイトバランスメニューから **PRE プリセット**を選ぶと、レンズが望遠側にズーミングして、プリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

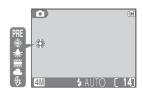
ホワイトバランス測定窓

設　定	内　容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定します。撮影時に用いる照明の下で、白やグレーの被写体をホワイトバランス測定窓に映します。マルチセレクターの ▽を押して**新規設定**を選択し、Ⓐ を押すと、プリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中はシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

プリセット時のスピードライトについて

プリセットホワイトバランスでは、スピードライト発光時のホワイトバランスは測定できません。

ホワイトバランス表示

ホワイトバランスを **A-WB オート**以外に設定すると、設定したホワイトバランスのアイコンが表示されます。

S 連写

撮影状況に合わせて、「単写（1 コマ撮影）」または 3 種類の連続撮影から選択します。

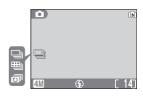
設　定	内　容
S **単写**	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを押し続けると、最速で約 1.5 コマ / 秒で、約 8 コマ※1 の連続撮影を行います。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約 2 コマ / 秒で 16 コマの連続撮影を行います。画像は 4 × 4 コマに並べられ、1 枚の画像（2288 × 1712 ピクセル）として保存されます。画像モードは自動的に 4M **標準（2288）**に設定されます。
サーキュラー連写	シャッターボタンを押し続けると、約 1 コマ / 秒で連続撮影を行い、シャッターボタンから指を離すと連続撮影を終了します。連続撮影した画像のうち、最後に撮影された 5 コマ※2 を記録します。

※1 画像モード（83）が 4M **標準（2288）**の場合のコマ数です。画像モードによって、連続撮影コマ数は異なります。

※2 画像モードが 4M★ **高画質（2288★）**の場合は 3 コマを記録します。

メニューガイド

撮影メニュー

連写モードについてのご注意

- **単写**以外に設定した場合は、オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件で固定されます。
- **単写**以外に設定した場合は、スピードライトモード (51) は自動的に ⊛（発光禁止）になります。
- **単写**以外に設定した場合は、BSS (89) は自動的に OFF になります。
- セルフタイマー撮影時 (53)、または BSS (89) を OFF 以外に設定したときは、連写モードは自動的に**単写**に設定されます。
- **マルチ連写**に設定した場合、電子ズーム (29) は使用できません。

カメラの一時保存メモリ

カメラには、撮影中に画像を一時保存しておくためのメモリがあります。撮影中に一時保存メモリの残量がなくなると、撮影画面上に ⌛ マークが表示され、連写が一時中断されます。画像が内蔵メモリまたは SD カードに書き込まれて一時保存メモリの容量が空くと、⌛ マークが消え、撮影を再開します。一時保存メモリに保存できる画像コマ数は、画像モードによって異なります。

連写モード表示

連写モードを**単写**以外に設定すると、設定した連写モードのアイコンが表示されます。

BSS BSS（ベストショットセレクタ）

ピント合わせや露出調整が難しい状況での撮影に便利な機能です。BSS（ベストショットセレクタ）および AE-BSS の 2 種類があります。手ブレしやすい撮影状況では BSS が、露出の調整が難しい場合には AE-BSS が効果的です。

設　定	内　容
BSS OFF	BSS を設定しません。
BSS ON	シャッターボタンを深く押し続けると、10 コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像の中からもっともシャープな 1 コマをカメラが自動的に選択して記録します。 • 望遠側で撮影する場合やマクロ撮影時、暗い場所でスピードライトを使用せずに撮影したい場合などに効果的です。 • スピードライトは ⊛（発光禁止）となり、オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。

設定	内容
AE AE-BSS	シャッターボタンを押すと、5 コマの画像を連続撮影します。撮影した画像のうち、次の 3 種類から選択した設定内容に合った 1 コマを、カメラが自動的に選択して記録します。 (AE-BSS / 白とび最小 / 黒つぶれ最小 / ヒストグラム最良) **白とび最小：** 露出オーバーによる白とびが最も少ない画像を選択します。 **黒つぶれ最小：** 露出不足による黒つぶれが最も少ない画像を選択します。 **ヒストグラム最良：** 白とびや黒つぶれが少ない画像の中から、画像全体の露光量の平均が標準的な露光量に最も近い画像を選択します。 • 被写体の輝度差（明るい部分と暗い部分の差）が大きく、露出の調整が難しい場合などに効果的です。 • スピードライトは ⊕（発光禁止）となり、オートフォーカス、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。

BSS についてのご注意

BSS を **ON** に設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えたりすると、適切な結果が得られない場合があります。

BSS 設定の制限について

BSS は次の場合は自動的に **OFF** になります。

- セルフタイマー撮影時 (☞ 53)
- 連写モード (☞ 87) が**単写**以外に設定された場合

BSS 表示

BSS を **ON** に設定すると BSS アイコンが、**AE-BSS** に設定すると AE-BSS アイコンが表示されます。

A-ISO ISO 感度設定

「ISO 感度」はカメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなれば、ある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピードで撮影することが可能になります。このため、暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像にはノイズが出て、粒子が粗くなる場合があります。

設　定	内　容
オート	通常は ISO50 相当にセットされますが、暗い場所では自動的に感度が上がります。感度が上がると **ISO**（感度変更）アイコンが画面に表示されます。
50	ISO50 相当。暗い場所での撮影や、動いている被写体を撮影する場合以外の通常の撮影では、この感度に設定することをおすすめします。これより高い感度で撮影すると、画像にノイズが出る場合があります。
100	ISO100 相当。
200	ISO200 相当。
400	ISO400 相当。

感度表示

ISO 感度を**オート**以外に設定すると、設定した感度が表示されます。

A◑ 階調補正

記録する画像のコントラスト（階調）を設定します。

設　定	内　容
A◑ オート	カメラが撮影状況に応じて最適なコントラストを自動的に設定します。
◯ 標準	標準的なコントラストに設定します。
◑+ コントラスト強め	明暗差を強調してコントラストをつけます。曇り空の下で撮影した風景の画像や、コントラストが低い被写体の画像に効果的です。
◑− コントラスト弱め	明暗差を抑えてコントラストを低くします。強い光で被写体にくっきりとした影が出てしまう場合などに効果的です。

A◇ 輪郭強調

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。

設定	内容
A◇ オート	撮影した画像が最適な輪郭になるように、カメラが自動的に調整します（調整の度合いは画像によって異なります）。
◇ 強	輪郭を強めに強調します。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
◇ 標準	標準的なレベルで輪郭を強調します。
◯ 弱	輪郭を弱めに強調します。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭を強調しません。

輪郭強調についてのご注意

輪郭強調の効果を、撮影時に画面で確認することはできません。

パソコンで画像を加工するときは

画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を OFF に設定することをおすすめします。

[■] AF エリア選択

ピントを合わせるときの、AF エリアの選択方法を設定します。

設　定	内　容
オート	5 つの AF エリアのうち、最もカメラに近い被写体がある AF エリアをカメラが自動的に選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択した AF エリアが画面に表示されます。ピント合わせをカメラまかせにして、気軽に撮影したい場合に適しています。
マニュアル	画面に表示された 5 つの AF エリアから、撮影者が選択した AF エリアのみを使用してピントを合わせます。また、選択した AF エリアを部分的に測光して露出を決定します（スポット測光）。被写体が画面中央にない場合や、AF ロック（32）を使用しないでピントを合わせたい場合に適しています。
中央	中央の AF エリアのみを使用してピントを合わせます。AF ロック（32）を使用してピントを合わせたい場合に便利です。

電子ズーム使用時の AF エリアについて

電子ズーム（29）作動中は、AF エリアは中央に固定されます。AF エリアは選択できません。

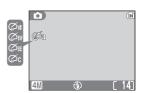
AF エリア選択が「マニュアル」の場合

- AF エリア選択を**マニュアル**に設定した場合、5 つの AF エリアと AF エリア選択ガイドが画面に表示されます。マルチセレクターの ⏎ を押すと、AF エリアを選択できる状態になり、現在設定されている AF エリアが赤色で表示されます。△、▽、◁、▷を押して被写体がある AF エリアを選択して ⏎ を押すと、AF エリアが設定されてグレーで表示されます。AF エリアを変更したい場合は、再度 ⏎ を押して変更してください。

AF エリア（グレー表示）　AF エリア選択可能状態（赤色表示）　設定終了（グレー表示）

- AF エリアの選択中には、スピードライトモード、露出補正、マクロモード、セルフタイマーモードは設定できません。⏎ を押して AF エリアの選択可能状態を解除してから各モードの設定を行ってください。

ピクチャーカラー

撮影する画像の色調を変えます。効果は 5 種類から選択できます。ピクチャーカラーを設定すると、撮影画面に表示される画像も、設定した色調になります。

設　定	内　容
標準カラー	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーについてのご注意

ピクチャーカラーを**白黒**、**セピア**、**クール**に設定すると、**ホワイトバランス** (85) の設定は**オート**に固定されます。その後**標準カラー**および**ビビッドカラー**に設定すると、元のホワイトバランス設定に戻ります。

ピクチャーカラー表示

ピクチャーカラーを**標準カラー**以外に設定すると、設定したピクチャーカラーのアイコンが表示されます。

再生メニュー

画像の再生中に MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。
再生メニューでは、以下の項目を設定できます。

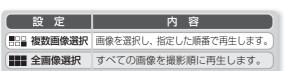
メニュー項目	内　容	👁
プリント指定	DPOF 対応プリンタや PictBridge 対応プリンタで画像をプリントするための設定を行います。	74
スライドショー	内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に連続再生します。	97
削除	選択した画像、またはすべての画像を削除します。	100
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように、画像にプロテクト（保護）をかけます。	102
転送マーク設定	画像をパソコンに転送するための設定を行います。	103
スモールピクチャー	撮影した画像のサイズを小さくして、元の画像とは別に新しい画像を作成します。	105
画像コピー	内蔵メモリから SD カードへ、または SD カードから内蔵メモリへと、画像をコピーします。	107
日付フォルダ分類	記録されている画像を、撮影した日付別に分類します。	109
簡易インデックス	撮影した画像を 4 × 4 コマに並べて 1 枚の画像に一覧表示した「簡易インデックス」を作成します。	111

再生メニューの表示方法

1

▶ ボタンを押します。
- 液晶モニタに再生画面が表示されます。

2

MENU ボタンを押します。
- 再生中の画像に応じた再生メニューが表示されます。

メニュー画面を終了するには

メニュー画面を終了して再生画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

スライドショー

内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に連続再生します。約 3 秒間隔で、撮影順や指定した順番に再生します。

設 定	内 容
複数画像選択	画像を選択し、指定した順番で再生します。
全画像選択	すべての画像を撮影順に再生します。

画像を選択し、指定した順番で再生する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、**複数画像選択**を選択します。

2

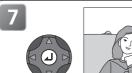
▷を押すと、再生画像選択画面に切り換わります。

3

◁または ▷を押して、スライドショーで再生したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 複数画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△または ▽を押して、スライドショーで再生する画像に設定します。設定された画像には順番を示す番号が表示されます。

- T ボタンを押すと、選択した画像に← アイコンが表示されます。再生時には時計回りに 90° 回転して表示されます。
- W ボタンを押すと、選択した画像に→ アイコンが表示されます。再生時には反時計回りに 90° 回転して表示されます。
- 手順 3、4 を繰り返して、再生する画像を順番に設定します。設定した順番どおりに、スライドショーで再生されます。
- 設定を解除する場合は、解除したい画像を選択して △または ▽を押し、番号の表示を消してください。

Ⓐ を押すと設定が完了し、スライドショー開始画面が表示されます。

△または ▽を押して、**開始**を選択します。

Ⓐ を押すと、スライドショーが始まります。

- スライドショーが終了すると、「一時停止」メニューが表示されます。**終了**を選択して Ⓐ を押すと、再生メニューに戻ります。**再開**を選択して Ⓐ を押すと、スライドショーを再開します。

すべての画像を撮影順に再生する

マルチセレクターの △または ▽を押して、**全画像選択**を選択します。

▷を押すと、スライドショー開始画面が表示されます。

スライドショーの自動繰り返し再生

スライドショーで画像を自動的に繰り返し再生するには、スライドショー開始画面で**エンドレス**を選択して Ⓐ を押し、**エンドレス**の前の □ に ✔ を入れます。**開始**を選択して Ⓐ を押すと、自動繰り返し再生を開始します。

- 自動繰り返し再生を解除するには、もう一度 Ⓐ を押して ☑ の ✔ を外します。

3

△または ▽を押して、**開始**を選択します。

4

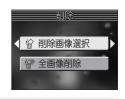
㊉を押すと、スライドショーが始まります。

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

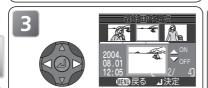
機　能	ボタン	内　容
スライドショーを一時停止する		スライドショーの再生中にマルチセレクターの ㊉ を押すと、スライドショーが一時停止し、一時停止メニューが表示されます。 △または ▽を押して**終了**または**再開**を選択し、㊉ を押すと、選択した項目が実行されます。 • **終了**：スライドショーを終了して、再生メニューに戻ります。 • **再開**：スライドショーを再開します。
コマ送りする		▷を押すとコマ送りします。押し続けると早送りします。
コマ戻しする		◁を押すとコマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
スライドショーを終了する	MENU	スライドショーの再生中に MENU ボタンを押すと、スライドショーを終了して、再生画面に戻ります。

スライドショーについてのご注意

- **エンドレス**に設定しても、スライドショーを開始してカメラの操作をせずに 30 分経過すると、オートパワーオフ機能により、自動的にカメラの電源が OFF になります。
- スモールピクチャー（105）、簡易インデックス（111）は表示されません。
- 動画（56）は 1 フレーム目だけが表示されます。

削除

画像を削除します。

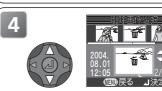
SD カードをカメラにセットしていない場合：
内蔵メモリ内の画像が削除されます。

SD カードをカメラにセットしている場合：
SD カード内の画像が削除されます。

設　定	内　容
削除画像選択	画像を選択して削除します。
全画像削除	内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像を削除します。

画像を選択して削除する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、**削除画像選択**を選択します。

2

▷を押すと、「削除画像選択」画面に切り換わります。

3

◁または ▷を押して、削除したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 削除画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△または ▽を押して、削除設定を行います。設定した画像には アイコンが表示されます。

- 手順 3、4 を繰り返して、削除したいすべての画像を設定します。
- 設定を取り消す場合は、設定を解除したい画像を選択して △または ▽を押し、 アイコンを消してください。

を押すと、削除確認画面が表示されます。

▽を押して**はい**を選択し、 を押すと、選択した画像が削除されます。

- **いいえ**を選択すると、画像を削除せずに再生メニューに戻ります。

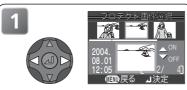
すべての画像を削除する

マルチセレクターの △または ▽を押して、**全画像削除**を選択します。

▷を押すと、削除確認画面が表示されます。

▽を押して**はい**を選択し、 を押すと、内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像が削除されます。

- **いいえ**を選択すると、画像を削除せずに再生メニューに戻ります。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻すことができないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- アイコンが表示されている画像は、プロテクト（保護）設定されているので削除されません（ 102）。

プロテクト設定

内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）設定します。

マルチセレクターの ◁または ▷を押して、プロテクト設定したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- プロテクト設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

△または ▽を押して、プロテクト設定を行います。設定した画像には アイコンが表示されます。

- 手順 1、2 を繰り返して、プロテクト設定したいすべての画像を設定します。
- プロテクト設定を取り消す場合は、設定を解除したい画像を選択して △または ▽を押し、 アイコンを消してください。

を押すと設定が完了します。

プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定された画像は削除できなくなります。ただし、内蔵メモリまたは SD カードを初期化すると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されるのでご注意ください（122）。

プロテクト表示

プロテクト設定した画像には再生時にプロテクトアイコンが表示されます。

転送マーク設定

撮影した画像をパソコンに転送するための設定を行います。転送マーク設定をした画像は、PictureProject を使用して、パソコンに一括して転送できます。転送方法についてはクイックスタートガイドおよび付属の PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

設　定	内　容
全 ON	撮影したすべての画像を転送設定します。設定後に撮影する画像もすべて転送するように設定されます。
全 OFF	撮影したすべての画像の転送設定を解除します。設定後に撮影する画像もすべて転送しないように設定されます。
複数画像選択	転送する画像を選択します。

転送マーク設定についてのご注意

- **全 ON** で一度に転送設定できる画像は 999 コマまでです。1000 コマ以上の画像を一括転送する場合は、PictureProject をご使用ください。詳しくは PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。
- COOLPIX4800 以外のニコン製デジタルカメラで転送設定した SD カードを挿入しても、転送設定は認識されません。COOLPIX4800 で再度転送設定を行ってください。

転送設定について

- 初期設定では**全 ON** にセットされています。撮影した画像すべてに （転送マーク）アイコンが自動的に表示されます。

1 コマ再生モード

サムネイル再生モード

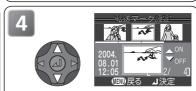
- PictureProject がインストールされたパソコンとカメラを専用 USB ケーブル UC-E6 で接続し、カメラの （転送 ）ボタンを押して画像を転送すると、 アイコンのついた画像がパソコンに転送されます。

  ただし、**USB**（68）の設定が **Mass Storage** の場合、内蔵メモリ内の画像、および書き込み禁止スイッチが「Lock」（21）されている SD カード内の画像は、カメラの （）ボタンで転送できません。PictureProject の [転送] ボタンで転送して下さい。

転送する画像を選択する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、**複数画像選択**を選択します。

2

▷を押すと、複数画像選択画面に切り換わります。

3

◁または ▷を押して、転送したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 転送画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△または ▽を押して、転送マーク設定を行います。設定された画像には アイコンが表示されます。

- 手順 3、4 を繰り返して、転送したいすべての画像を設定します。
- 転送マーク設定を取り消す場合は、設定を解除したい画像を選択して △または ▽を押し、アイコンを消してください。

5

を押すと、設定が完了します。

メニューガイド

再生メニュー

スモールピクチャー

撮影した画像の画像サイズを小さくして、もとの画像とは別に、新しい画像を作成します。

サイズ（ピクセル）	内　容
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。読み込みの時間を短くできます。
160 × 120	電子メールへの添付に適しています。送信、受信の時間を短くできます。

1

スモールピクチャーを作成したい画像を表示してスモールピクチャーメニューを選択し、マルチセレクターの △または ▽を押して、画像サイズを選択します。

2

▷を押すと、スモールピクチャーの作成確認画面が表示されます。

3

表示している画像で
保存します
よろしいですか？
いいえ
は い

▽を押して、**はい**を選択します。

- **いいえ**を選択すると、スモールピクチャーを作成せずに再生メニューに戻ります。

4

を押すと、選択した画像サイズのスモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーは元の画像とは別の画像として保存されるので、個別に再生メニュー（96）で設定を変更したり削除したりすることができます。
- スモールピクチャーは、JPEG で約 1/16 に圧縮して保存されます。
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

作成されたスモールピクチャーについて

- スモールピクチャーは、元画像を削除しても削除されません。また、スモールピクチャーを削除しても、元画像は削除されません。
- 元画像で設定した**転送マーク設定**（103）は、スモールピクチャーにも設定されます。
- 元画像で設定した**プリント指定**（74）と**プロテクト設定**（102）は、スモールピクチャーには設定されません。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）をつけた名前（拡張子は .JPG）となります（例：SSCN0015.JPG）。

スモールピクチャーについてのご注意

- COOLPIX4800 で作成したスモールピクチャーを、COOLPIX4800 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンに転送できない場合があります。
- COOLPIX4800 以外で撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。
- スモールピクチャー、トリミング（63）で作成された画像、動画（56）からスモールピクチャーを作成することはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードに充分な残量がない場合は、スモールピクチャーを作成できません。

スモールピクチャーの再生について

スモールピクチャーはグレーの枠で囲まれて表示されます。また、1 コマ再生モード時は、画像サイズを示すアイコン（、、）が表示されます。

画像コピー

内蔵メモリの画像を SD カードに、SD カードの画像を内蔵メモリにコピーすることができます。

SD カードがカメラにセットされていないときは、このメニューは選択できません。

画像を選択してコピーする

1 マルチセレクターの △または ▽を押して、IN→SD（内蔵メモリ→ SD カード）または SD→IN（SD カード→内蔵メモリ）を選択します。

2 ▷を押すと、コピー方法の選択画面に切り換わります。△または ▽を押して、**選択画像コピー**を選択します。▷を押すと、コピー画像選択画面に切り換わります。

3 ◁または ▷を押して、コピーしたい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- コピー画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4 △または ▽を押して、コピー設定を行います。設定された画像には アイコンが表示されます。

- 手順 3、4 を繰り返して、コピーしたいすべての画像を設定します。
- コピー設定を解除する場合は、解除したい画像を選択して △または ▽を押し、アイコンを消してください。

5 を押すと、画像コピーの確認画面が表示されます。▽を押して**はい**を選択し、を押すと、選択した画像がコピーされます。

- **いいえ**を選択すると、画像をコピーせずに再生メニューに戻ります。

すべての画像をコピーする

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、IN→SD（内蔵メモリ→ SD カード）または SD→IN（SD カード→内蔵メモリ）を選択します。

2

▷を押すと、コピー方法の選択画面に切り換わります。△または ▽を押して、**全画像コピー**を選択します。▷を押すと、画像コピーの確認画面が表示されます。

▽を押して**はい**を選択し、⏎ を押すと、すべての画像がコピーされます。

- **いいえ**を選択すると、画像をコピーせずに再生メニューに戻ります。

画像コピーについてのご注意

- コピー先のメモリ残量が足りない場合には、「画像を登録できません」（ 131）という警告メッセージが表示されます。不要な画像を削除するか、新しい SD カードに交換（コピー先が SD カードの場合）してから、もう一度コピーしてください。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンでレタッチした画像に対しては、画像コピー機能の動作は保証しておりません。

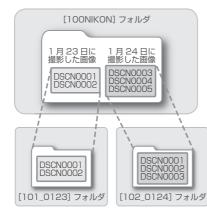
コピーした画像のファイル名について

- **選択画像コピー**の場合、使用中のフォルダ（または次回撮影で画像が記録されるフォルダ）に、画像がコピーされます。コピーされた画像のファイル名は、内蔵メモリおよび SD カードの中で最大のファイル番号に 1 を加えた番号からの連番で付けられます。
- **全画像コピー**の場合、画像はフォルダごとにコピーされます。フォルダ名はコピー先の最大のフォルダ番号に 1 を加えた番号からの連番で付けられます。ファイル名は変わりません。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

プリント指定（ 74）、**転送マーク設定**（ 103）を行った画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、**プロテクト設定**（ 102）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

日付フォルダ分類

内蔵メモリまたは SD カードに記録された画像を、撮影した日付ごとに分類します。

設 定	内 容
いいえ	日付フォルダ分類を行いません。
はい	撮影した日付ごとに画像を分類します。撮影した日付ごとにフォルダを新しく作成し、画像を撮影日別のフォルダに移して保存します。

- フォルダ名は 3 桁のフォルダ番号と 4 桁の撮影日で構成され、カメラによって自動的に付けられます（例：1 月 23 日の場合は「101_0123」など）。ファイル名はそれぞれの日付フォルダごとに 0001 からの連番で、カメラによって自動的に付けられます（例：DSCN0001.JPG）。
- 日付フォルダ分類を行った後に撮影した画像は、分類前に使用していたフォルダ（100NIKON など）に保存されます。

日付フォルダ分類によって、ファイルとフォルダの関係は、次の例のように変化します。

メニューガイド

再生メニュー

日付フォルダ分類についてのご注意

- 分類を行うと、画像が保存されるフォルダや画像のファイル名は変更され、元に戻すことはできません。
- 音声メモファイル（65）も画像とともに移動します。
- 分類前に設定した**プロテクト設定**（102）は、分類後の画像にも設定されます。
- 分類前に設定した**プリント指定**（74）と**転送マーク設定**（103）は、分類後の画像には設定されません。
- 違う年の同じ日に撮影した画像は、同じ日付フォルダに分類されます。
- 内蔵メモリまたは SD カード内の最大フォルダ番号が 999 に達したときは、フォルダ分類をすることができません。

日付フォルダに分類されない画像

次の画像ファイルは日付フォルダに分類されず、元のフォルダに残ります。

- シーンモードのパノラマアシスト（48）モードで撮影された画像
- スモールピクチャー（105）、トリミング（63）で作成された画像、および簡易インデックス画像（111）
- すでに日付フォルダに分類されている画像
- 撮影日時の情報（23）が記録されていない画像

簡易インデックス

撮影した画像を 4 × 4 コマに並べて 1 枚の画像に一覧表示した、簡易インデックスを作成します。どのような画像を撮影したかを、ひと目で確認したい場合などに便利です。

設定	内容
複数画像選択	内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像を 16 コマまで選択して、簡易インデックスを作成します。
全画像選択	内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像（動画と簡易インデックス画像を除く）を使用して、カメラが自動的に簡易インデックスを作成します。

画像を選択して簡易インデックスを作成する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、**複数画像選択**を選択します。

2

▷を押すと、画像選択画面に切り換わります。

3

◁または ▷を押して、簡易インデックスに表示したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 画像選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

4

△または ▽を押して、簡易インデックスに表示する画像として設定します。設定された画像には 順番を示す番号が表示されます。

- 手順 3、4 を繰り返して、簡易インデックスに表示する画像を 16 コマまで設定します。
- 設定を解除する場合は、解除したい画像を選択して ▽を押し、番号の表示を消してください。

5

Ⓚ を押すと、簡易インデックス作成の確認画面が表示されます。▽を押して**はい**を選択し、Ⓚ を押すと、簡易インデックス画像が作成されます。

簡易インデックスを自動作成する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、**全画像選択**を選択します。

2

▷を押すと、簡易インデックス作成の確認画面が表示されます。

3

▽を押して**はい**を選択し、Ⓚ を押すと、簡易インデックスが自動的に作成されます。内蔵メモリまたは SD カードに記録された画像を、フォルダ番号およびファイル番号の小さい順から 16 コマずつ使用して、簡易インデックスを作成します。

- **いいえ**を選択すると、簡易インデックスを作成せずに再生メニューに戻ります。

- 簡易インデックスは、作成のたびに新たに作られる「INDEX」フォルダ（例：101INDEX）に保存されます。ただし、フォルダ番号が最大のフォルダが「INDEX」フォルダの場合は、そのフォルダに保存されます。
- 17 コマ以上の画像がある状態で**全画像選択**を選択すると、複数の簡易インデックスが作成されます。
- 15 コマ以下の画像で簡易インデックスを作成すると、16 コマに満たない部分は空白になります。
- 簡易インデックスの画像モードは 4M **標準（2288）**です。

簡易インデックスについてのご注意

- 動画（56）およびすでに作成済みの簡易インデックスを、簡易インデックスに使用することはできません。
- 簡易インデックスはスライドショー（97）では再生されません。

セットアップメニュー

モードダイヤルを **SET UP** に合わせると、画面にセットアップメニューが表示されます。

セットアップメニューでは、以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内　容	👁
オープニング画面	カメラの電源を ON にしたときに表示される、オープニング画面を選択します。	115
日時設定	カメラの内蔵時計の日時を設定します。タイムゾーンを自宅から訪問先に変更することもできます。	23 117
デート写し込み	撮影時の日付と時刻を画像上に写し込みます。	119
モニタ設定	起動時の表示画面の選択、レビュー表示の設定、画面の明るさの調整を行います	120
操作音	設定音、シャッター音、起動音の ON/OFF や音量を設定します。	121
オートパワーオフ	バッテリー節約のため、液晶モニタまたは電子ビューファインダーが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	122
メモリの初期化 / カードの初期化	内蔵メモリまたは SD カードを初期化します。	122
表示言語 / LANGUAGE	カメラに表示する言語を設定します。	123
USB	ご使用のパソコンの OS やプリンタに合わせて、USB 通信方式を設定します。	68
ビデオ出力	ビデオ出力形式を設定します。	123
設定クリア	カメラの各種設定を初期設定にリセットします。	124
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	125

セットアップメニューの表示方法

1

モードダイヤルを **SET UP** に合わせます。

2

セットアップメニューが表示されます。

セットアップメニューを終了するには

セットアップメニューを終了するには、モードダイヤルを他のモードに切り換えてください。

Nikon オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに画面に表示される、オープニング画面を設定します。**なし**、**Nikon**、**アニメーション**、**撮影した画像**から選択できます。

設定	内容
なし	カメラの電源を ON にしても、オープニング画面は表示されません。
Nikon	カメラの電源をONにしたとき、右のようなオープニング画面が表示されます。
アニメーション	カメラの電源を ON にしたとき、右のようなオープニングアニメーションが表示されます。
撮影した画像	COOLPIX4800 で撮影し、内蔵メモリまたは SD カードに記録されている画像から、オープニング画面を選択します。

撮影した画像をオープニング画面に設定する

1

マルチセレクターの △または ▽を押して**撮影した画像**を選択し、▷を押すと、画像選択画面が表示されます。

2

◁または ▷を押して、オープニング画面に使用したい画像を選択します。

- 画面下部には選択した画像が表示されます。
- 画像を選択せずに終了する場合は、MENU ボタンを押します。

3

⏎ を押すと、選択した画像がオープニング画面として設定されます。

設定をクリアした場合

設定クリア（124）で**はい**を選択すると、オープニング画面は初期設定の**アニメーション**に戻ります。ただし、**撮影した画像**に登録されている画像はリセットされません。

スモールピクチャーやトリミング画像について

画像サイズが 320 × 240 以下のスモールピクチャー（105）とトリミング画像（63）は、オープニング画面として設定できません。

すでに「撮影した画像」を登録済みの場合

オープニング画面メニューの**撮影した画像**で、すでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は**はい**を選択し、手順 2、3 にしたがってもう一度設定してください。変更しない場合は**いいえ**を選択してください。

日時設定

カメラの内蔵時計のタイムゾーン（地域）と日時を設定します。また、タイムゾーンを**自宅**から**訪問先**に変更することもできます。

日時

日付と時刻を設定します。詳しくは「言語と日時を設定します」（23）をご覧ください。

ワールドタイム

自宅と訪問先それぞれのタイムゾーンを設定できます。自宅（🏠）または訪問先（✈）のいずれか選択されているタイムゾーンの日時が、撮影画像に記録されます。時差のある地域でカメラを使用するときに便利です。

自宅および訪問先の選択アイコン
（◉ の方が選択されています）

1

マルチセレクターの △または ▽を押して、自宅または訪問先のタイムゾーンを選択します。

- 自宅のタイムゾーンを変更したい場合は、🏠 を選択して ↵ を押します。
- 訪問先のタイムゾーンを変更したい場合は、✈ を選択して ↵ を押します。
- 夏時間を設定する場合は、**夏時間**を選択して ↵ を押すと、□ が ☑ になります。

2

▷を押すと、世界地図画面が表示されます。

3

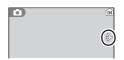
◁または ▷を押して、タイムゾーンを選択します。

4

Ⓞ を押すと、タイムゾーンが設定されます。MENU ボタンを押すと、ワールドタイム画面に戻ります。

- 🏠 を選択した場合は、選択したタイムゾーンの日時に設定されます。
- ✈ を選択した場合は、自宅との時差を自動的に算出して、訪問先での日付と時刻が表示されます。
- **夏時間**に ☑ がついている場合は、時刻が 1 時間進みます。

タイムゾーンと時差の関係は次のとおりです。

タイムゾーン（都市名）	時差
Tokyo, Seoul	0
Beijing, HongKong, Singapore	-1
Bangkok, Jakarta	-2
Colombo, Dhaka	-3
Islamabad, Karachi	-4
Abu Dhabi, Dubai	-5
Moscow, Nairobi	-6
Athens, Helsinki	-7
Madrid, Paris, Berlin	-8
London, Casablanca	-9
Azores	-10
Fernando de Noronha	-11
BuenosAires, SãoPaulo	-12
Caracas, Manaus	-13

タイムゾーン（都市名）	時差
EST(EDT): NewYork, Toronto, Lima	-14
CST(CDT): Chicago, Houston, Mexico City	-15
MST(MDT): Denver, Phoenix, La Paz	-16
PST(PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver	-17
Alaska, Anchorage	-18
Hawaii, Tahiti	-19
Midway, Samoa	-20
Auckland, Fiji	+3
New Caledonia	+2
Sydney, Guam	+1

ワールドタイムの設定についてのご注意

- カメラの内蔵時計は一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- **ワールドタイム**は、**日時**で日付と時刻を設定してからでないと、設定できません。
- 時差は 1 時間単位で自動的に設定されます。時刻を正確に合わせる場合は、**日時設定**（23）で設定してください。
- 自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定することはできません（132）。

ワールドタイム表示

訪問先を選択すると、✈ アイコンが画面に表示されます。
撮影画像には設定した訪問先の日時が記録されます。

DATE デート写し込み

撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。

デート写し込みを設定すると、日付と時刻が画像に直接写し込まれるので、DPOF に対応していないプリンタでも日付と時刻入りの画像をプリントできます。

日付と時刻は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできないのでご注意ください。

設　定	内　容
OFF	日付、時刻のどちらも写し込みません。
DATE 年・月・日	画像上に日付のみを写し込みます。
DATE 年・月・日・時刻	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます。

デート写し込みについてのご注意

- セットアップメニューの**日時設定**（ 23、117）で日時を設定していない場合、**デート写し込み**は **OFF** に固定されます。
- 連写モード（ 87）が**連写**または**サーキュラー連写**に設定されている場合、**BSS**（ 89）が **OFF** 以外のとき、動画モード（ 56）およびシーンモードの （パノラマアシスト）（ 48）での撮影時は、デート写し込みの設定は解除されます。
- 一度写し込まれた日時を画像から消すことはできません。
- 画像モード（ 83）が **TV（640）** に設定されている場合、写し込まれた日時が読みづらい場合があります。画像モードは**パソコン（1024）**以上に設定してください。
- 年、月、日の表示順序は、セットアップメニューの**日時設定**（ 23）で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニューの**プリント指定**（ 74）の設定に関係なく、写し込まれた日付や時刻はプリントされますので、DPOF に対応していないプリンタでもプリントされます。**プリント指定**による日付設定との違いについては、73 ページをご覧ください。

デート写し込み表示

デート写し込みを **OFF** 以外に設定すると、設定したデート写し込みのアイコンが表示されます。

モニタ設定

起動時のモニタ表示、レビュー表示の設定、画面の明るさを設定します。

起動時モニタ表示

電源を ON にしたとき、液晶モニタを点灯するか、電子ビューファインダー（EVF）を点灯するかを設定します。

設　定	内　容
EVF 表示	起動時には電子ビューファインダーが点灯します。
モニタ表示	起動時には液晶モニタが点灯します。

レビュー設定

撮影後に、撮影した画像を約 1 秒間表示する「レビュー表示」をするかどうかを設定します。

設　定	内　容
レビュー ON	レビュー表示をします。
レビュー OFF	レビュー表示をしません。

画面の明るさ

画面の明るさを 5 段階で調整します。画面に表示される右の画像を目安にしながら、マルチセレクターの △または ▽を押して明るさを調整してください。㊉ を押すと選択した明るさに設定されます。

操作音

カメラの状態を知らせる設定音、起動時のオープニング音、シャッター音のON/OFFや種類、音量を設定します。

設定	内容
設定音	**ON**にすると、次のような場合に設定音が鳴ります。 **設定音が1回鳴る場合；** SDカードの着脱時、データ削除時、内蔵メモリまたはSDカードの初期化時、モードダイヤルを切り換えたとき **設定音が3回鳴る場合；** 内蔵メモリやSDカード、バッテリーの残量がない状態でシャッターボタンを押したとき、またはSDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の状態でシャッターボタンを押したとき 設定音: ON / OFF
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音を3種類から選択できます。**OFF**にすると、シャッターをきってもシャッター音は鳴りません。 シャッター音: 1 / 2 / 3 / OFF
オープニング音	**ON**にすると、起動時にオープニング音が鳴ります。ただし、USBケーブルを接続して電源をONにしたとき（70、77）には、オープニング音は鳴りません。 オープニング音: ON / OFF
音量	シャッター音、オープニング音の大きさを**大**、**標準**の2段階で調節できます。 **OFF**にすると、これらの音は鳴りません。 音量: 大 / 標準 / OFF

シャッター音について

スピードライト発光時、連写モード（87）が**単写**以外のとき、BSS（89）が**OFF**以外のとき、シーンモードの（スポーツ）（42）や動画モード（56）での撮影時には、シャッター音は鳴りません。

SET UP → 1m オートパワーオフ

1m オートパワーオフ

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を **30 秒**、**1 分**（初期設定）、**5 分**、**30 分**のいずれかに設定できます。内容については「撮影の準備」の「電源を ON にします」(22) をご覧ください。

オートパワーオフについてのご注意

- 2CR5 型リチウム電池をご使用の場合、電源が ON のままカメラを長時間放置すると、カメラ本体が熱くなることがあるので、**オートパワーオフ**を **5 分**以下に設定することをおすすめします。
- オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、メニュー画面が表示されている場合は 3 分に、スライドショーを**エンドレス**に設定している場合、および AC アダプタ EH-54（別売）を使用している場合は、30 分に固定されます。ただし、AC アダプタを使用し、同時に AV ケーブルを接続している場合は、節電モードになってもビデオ信号は継続して出力されます。

メモリの初期化 / カードの初期化

内蔵メモリまたは SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、内蔵メモリまたは SD カードに記録されている、すべてのデータが消去されます。

SD カードがセットされていないときは**メモリの初期化**メニューが表示され、**初期化する**を選択すると内蔵メモリが初期化されます。

SD カードがセットされているときは**カードの初期化**メニューが表示され、**初期化する**を選択すると SD カードが初期化されます。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、「メモリ初期化中」または「カード初期化中」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、カメラの電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- 初期化すると、内蔵メモリまたは SD カード内のデータはすべて消去されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします (68)。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、カメラの機能を充分に活用できなくなります。定期的に SD カードを初期化することをおすすめします。

表示言語 /LANGUAGE

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を選択します。表示言語は、「**Deutsch**（ドイツ語）」、「**English**（英語）」、「**Español**（スペイン語）」、「**Français**（フランス語）」、「**Italiano**（イタリア語）」、「**Nederlands**（オランダ語）」、「**Svenska**（スウェーデン語）」、「**日本語**」、「**中文(简体)**（簡体字中国語）」、「中文(繁體)（繁体字中国語）」、「**한글**（韓国語）」のいずれかに切り換えることができます。

USB

パソコンとのUSB通信方式を設定します。内容については「パソコンで再生する」(68) をご覧下さい。

NTSC ビデオ出力

ビデオの出力方式を設定します。テレビやビデオデッキなど、接続する機器に合わせて選択してください (67)。

設　定	内　容
NTSC NTSC	NTSC方式に設定します。通常、日本国内で使用されている方式です。
PAL PAL	PAL 方式に設定します。通常、欧州で使用されている方式です。

C 設定クリア

カメラの各種設定を初期設定にリセットします。

はいを選択すると、以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
スピードライト	AUTO（自動発光）
セルフタイマー	OFF
マクロモード	OFF
露出補正	± 0
動画モード	カメラ再生 320
AF-MODE	シングル AF
シーンモード	パーティー
ポートレートモード	ポートレート
ISO 感度設定	感度アップ
風景モード	風景
AE-BSS	OFF
スポーツモード	スポーツ
ISO 感度設定	感度アップ
夜景ポートレートモード	夜景ポートレート
ISO 感度設定	感度アップ
画像モード	標準（2288）
ホワイトバランス	オート

設定項目	初期設定
連写モード	単写
BSS	OFF
ISO 感度設定	オート
階調補正	オート
輪郭強調	オート
AF エリア選択	中央
ピクチャーカラー	標準カラー
オープニング画面	アニメーション
デート写し込み	OFF
モニタ設定	起動時モニタ表示：モニタ表示 レビュー設定：ON 画面の明るさ：3
操作音	設定音：ON シャッター音：1 オープニング音：ON 音量：標準
オートパワーオフ	1 分

- 設定クリアを行うと、ファイル名の連番もリセットされます。次の撮影からは内蔵メモリまたは SD カード内にあるいちばん大きいファイル番号の次の番号から連番がつけられます。

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは、まず内蔵メモリまたは SD カード内の画像をすべて削除する（📖 100）か、内蔵メモリまたは SD カードを初期化（📖 122）した後、設定クリアを行ってください。

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。マルチセレクターの ◁ を押すと、セットアップメニューに戻ります。

別売アクセサリー

COOLPIX4800には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャーMH-53
ACアダプタ	ACアダプタEH-54
ソフトケース	ソフトケースCS-CP19
増灯スピードライト※	ニコンスピードライトSB-30（専用ブラケットSK-9が必要です）
ブラケット	SB-30専用ブラケットSK-9

※ SB-30の調光範囲は、望遠側で約1～3.5m、広角側で約1～6mです。約1mよりも近距離でスピードライトを使用する場合は、内蔵スピードライトのみをご使用下さい。

推奨SDカード一覧

次のSDカードが動作確認されています。

SanDisk製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、256MB※、512MB、512MB※、1GB
東芝製	16MB、32MB、64MB、128MB、128MB※、256MB、256MB※、512MB
Panasonic製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB※、512MB※、1GB※

※ 10MB/s以上の高速タイプ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使用できません。
- SDカードをはじめて使用するときは、必ず初期化（フォーマット）をしてください。
- SDカードの初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などに、以下のことをしないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - ・カードの着脱をする
  - ・カメラの電源をOFFにする
  - ・バッテリーを取り出す
  - ・ACアダプタを抜く
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、および腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがあるのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使用してほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

※ **クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。**

保管について

長期間カメラを使用しないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、カメラの電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える部屋

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーや AC アダプタを取り外すときは必ず電源が OFF の状態で行ってください

電源が ON の状態で、バッテリーの取り出し、AC アダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

- 液晶モニタの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニタの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●AF 補助光について

AF 補助光（31）に使用されている LED（発光ダイオード）は以下の IEC 規格に準拠しています。

クラス1 LED製品
IEC60825-1 Edition 1.2-2001

付録

バッテリーの取り扱いについて

●撮影の前に充電池をあらかじめ充電する

リチャージャブルバッテリー EN-EL1 で撮影の際は、電池の充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL1 は、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●バッテリー使用上のご注意

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- 使用推奨期限の過ぎた 2CR5 型リチウム電池は使用しないでください。
- バッテリー容量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返さないでください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●持ち運ぶときは端子カバーをつける

カメラから取り外したバッテリーを保管したり、持ち運ぶ場合は、必ず付属の端子カバーをつけてください。バッテリーがショートすると、液もれ、発熱、破裂の原因となり危険です。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しいバッテリーか、充分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が十分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

●リチャージャブルバッテリー EN-EL1 のリサイクルについて

ご使用済みのリチャージャブルバッテリーは貴重な資源です。リチャージャブルバッテリーのリサイクルにご協力ください。＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店へご持参ください。

●小型充電式電池のリサイクル

Li-ion

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

警告メッセージについて

液晶モニタまたは電子ビューファインダーに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

画面表示	原　因	対処法	参照
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	23
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源を OFF にしてバッテリーを交換してください。	18
AF● （AF 表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図をもとにもどして撮影してください。	32
	シャッタースピードが遅くなり、手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • スピードライトを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体にひじを付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	 51 13 — 28
記録中 しばらくお待ちください	• 画像の記録中にカメラの電源を OFF にしました。 • 画像の記録中に ボタンが押されました。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	31
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」にセットされています。	SD カードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。	21
このカードは使用 できません カードに異常があります	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みの SD カードをご使用ください。 • SD カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • 電源を OFF にして、SD カードが正しく挿入されているか、ご確認ください。	126 21 20

画面表示	原　因	対処法	
初期化されていません 初期化する いいえ ▷	SD カードが、COOLPIX4800 用に初期化されていません。	マルチセレクターの △ を押して「初期化する」を選択し、⏎ を押して SD カードを初期化するか、カメラの電源を OFF にして、適切な SD カードに交換してください。	122 20
メモリ残量が ありません IN または	画像を記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しい SD カードを挿入してください。	83 100 20
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、⏎ ボタンを押した場合のみ）	不要な画像を削除し、もう一度 ⏎ ボタンを押してください。	100
画像を登録できません IN または	• ファイル番号のオーバーフローです。	• 新しい SD カードに入れ換えるか、画像ファイルまたは音声ファイルを削除してください。	20 100
	• 画像の編集（スモールピクチャー、トリミング）ができない画像や動画に対して、画像の編集を行おうとしました。	• 画像の編集で作成された画像や動画に対しては、画像の編集を行うことができません。	63 105
	• オープニング画面に設定できない画像を設定しようとしました。	• サイズが 320 × 240 以下の画像はオープニング画面に設定できません。	115
	• 画像をコピーしようとしましたが、コピー先のメモリ残量が足りません。	• 新しい SD カードに入れ換えてください。 • 内蔵メモリまたは SD カード内の不要な画像を削除するか、初期化してください。	20 100 122
このファイルは 表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	—

画面表示	原　因	対処法	
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速い SD カードに交換してください。	126
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンをもう一度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば、設定する必要がありません。	117
モードダイヤル位置がずれています	カメラの ● 指標にセットされているモードがありません。	モードダイヤルを回して、カメラの ● 指標にいずれかのモードをセットしてください。	17
撮影画像がありません	内蔵メモリまたは SD カードに、撮影された画像が入っていません。	再生モード時：▶ ボタンを押して撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。	33
表示可能な画像がありません	内蔵メモリまたは SD カードに、COOLPIX 4800 で再生できる画像が入っていません。		
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	画像のプロテクトを解除して、もう一度画像を削除してください。	102
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、およびバッテリーの残量が充分であることを確認して、もう一度転送してください。	70 27
転送がキャンセルされました	パソコン側で転送がキャンセルされました。		
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないときに ⏎ ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送マーク設定をセットして、もう一度転送してください。	68 103

画面表示	原　因	対処法	
通信エラー	パソコンに画像を転送中、またはプリンタに画像を転送中に、インターフェースケーブルの接続が外れたか、SDカードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックしてPictureProjectを終了してください（パソコンに画像を転送中の場合）。カメラの電源をOFFにした後、ケーブルを再接続するか、もう一度電源をONにして転送してください。	68
	ご使用のパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラの⏎ボタンで転送できません。	カメラの電源をOFFにし、いったんUSBケーブルを外して、セットアップメニューの「USB」の設定を変更した後、パソコンともう一度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、PictureProjectの［転送］ボタンを使用して転送して下さい。	68
	PictureProjectが起動していません。	⏎ボタンを押す前にPictureProjectが起動していることを確認してください。	68
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、ACアダプタを使用している場合はアダプタを外して、バッテリーを取り出します。もう一度バッテリーを入れて、電源をONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	18
レンズエラー	レンズの作動不良です。	カメラの電源をOFFにしてください。もう一度電源をONにしてもレンズエラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	22

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。AC アダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでに SD カードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをご確認ください	
液晶モニタに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。	22
	• 撮影画像は電子ビューファインダーに表示され、液晶モニタは消灯しています。 ボタンを押して液晶モニタを点灯してください。	16
	• バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。	18
	• バッテリーの残量がありません。	27
	• AC アダプタ EH-54（別売）が正しく接続されていません。	19
	• カメラが節電モードになっています。シャッターボタンを半押ししてください。	22
	• USB ケーブルが接続されています。	—
	• AV ケーブルが接続されています。	—
カメラの電源が突然切れる	• バッテリーの残量がありません。	27
	• バッテリーの温度が低すぎます。	129
画像モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 撮影情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。撮影情報または画像情報が表示されるまで ボタンを押してください。	16
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲が明るすぎます。電子ビューファインダーを使用することをおすすめします。	16
	• 液晶モニタの明るさを調整してください。	120
	• 液晶モニタが汚れています。	127

こんなときは	ここをご確認ください	👀
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • スピードライト表示が点滅しています：スピードライトが充電中です。 • 画面に「初期化されていません」というメッセージが表示されます：SD カードが COOLPIX4800 用に初期化されていません。 • 画面に「メモリ残量がありません」というメッセージが表示されます：内蔵メモリまたは SD カードに画像を記録する空き容量がありません。 • 画面に「カードがロックされています」というメッセージが表示されます：SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」にセットされています。	33 27 30 122 100 21
撮影した画像が暗すぎる （露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの「逆光」で撮影するか、スピードライトモードを ⚡（強制発光）にして撮影してください。	51 28 52 55 48、51
撮影した画像が明るすぎる （露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	55
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。AF ロックを使用して撮影してください。 • 撮影距離が近すぎます。被写体から離れるか、マクロモードにするか、ズームを広角側にしてください。	32 29、 54
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法でもう一度撮影してください。 － スピードライトを使用してください。 － BSS（ベストショットセレクタ）機能を使用してください。 － 三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	 51 89 53
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	85
スピードライト撮影時に、画像に白い点が写り込む	• スピードライトの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。スピードライトモードを ⓧ（発光禁止）にして撮影するか、ズームの望遠側で撮影してください。	29 51 52
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました。	—

付録

こんなときは	ここをご確認ください	
画像の編集（トリミング、スモールピクチャーの作成）ができない	• 表示画像が動画です。画像の編集は静止画像に対してしか行えません。 • 表示画像がスモールピクチャー、トリミングで作成された画像です。 • 内蔵メモリまたは SD カードの残量が少ない場合、画像の編集ができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	56 63 105 100
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。 ※ シーンモードの（夜景ポートレート）、（夜景）、（トワイライト）では、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。	51
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になるのでご注意ください： – シーンモードの（風景［左背景と右背景を除く］）、（スポーツ）、（夕焼け）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（モノクロコピー）、（パノラマアシスト）、（トワイライト）にセットした場合 – （動画）モードにセットした場合 – 連写モードを「単写」以外に設定した場合 – BSS を「ON」、「AE-BSS」に設定した場合	51 36 56 87 89
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	56 105 63
カメラをパソコンに接続したとき、または SD カードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、PictureProject が自動的に起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • AC アダプタ EH-54（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。または SD カードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの「USB」が「PTP」に設定されています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE の場合）。 PictureProject については、付属の PictureProject リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	22 19 70 — 68
カメラのボタンを押しても画像が転送できない	• 「USB」を「Mass Storage」に設定した状態で、内蔵メモリの画像をカメラのボタンで転送しようとしました。	68

付録

主な仕様

項目	仕様
型式	ニコンデジタルカメラ E4800
有効画素数	4.0 メガピクセル
撮像素子	1/2.5 型原色 CCD、総画素数 4.24 メガピクセル
画像モード	• 2288 × 1712［高画質（2288★）/ 標準（2288）］ • 1600 × 1200［エコノミー（1600）］ • 1024 × 768［パソコン（1024）］ • 640 × 480［TV（640）］
レンズ	8.3 倍ズーム ED ニッコールレンズ
焦点距離	f=6 ～ 50mm（35mm 判換算 36 ～ 300mm）
絞り	F2.7 ～ F4.4
レンズ構成	9 群 11 枚
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 1200mm 相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式、AF 補助光付
撮影距離	レンズ前約 40cm ～ ∞（広角側）、約 1.8m ～ ∞（望遠側）［マクロモード時はレンズ前約 1cm ～∞（広角側）、レンズ前約 1m ～∞（望遠側）］
AF エリア	中央、オート、マニュアル
AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 2000 μW
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.44 型高温ポリシリコン TFT 液晶、235,000 画素、視度調節機能付き
視野率	上下左右とも約 97%
視度調節	－ 3 ～＋ 1m^{-1}
液晶モニタ	1.8 型 低温ポリシリコン TFT 液晶、118,000 画素、輝度調節機能付き（5 段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
記録形式	
記録媒体	内蔵メモリ（約 13.5MB）、SD メモリーカード
画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF）、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format(DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：QuickTime
露出	
測光方式	マルチ測光（256 分割）、5 点 AF スポット測光対応
露出制御	プログラムオート、露出補正（－ 2 ～＋ 2EV、1/3EV ステップ）可能
露出連動範囲（ISO100 換算）	広角側：EV ＋ 2.9 ～＋ 14.8 望遠側：EV ＋ 4.3 ～＋ 14.3
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	4 ～ 1/2000 秒

絞り	電磁駆動による開口選択方式
制御段数	2（F2.7、F3.6［広角側］）
撮像感度	ISO50 相当、感度切り換え可能（オート、ISO50、ISO100、ISO200、ISO400 相当）
セルフタイマー	約 10 秒
内蔵スピードライト	
調光範囲	約 0.4 ～約 4.3m（広角側） 約 1.0 ～約 2.6m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB2.0 FullSpeed
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力 / デジタル端子（USB）
電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1（リチウムイオン充電池；付属）1 本 • リチウム電池 2CR5（別売）1 本 • AC アダプタ EH-54（別売）
連続撮影コマ数（CIPA 規格※による）	約 240 コマ（EN-EL1 使用時）/ 約 360 コマ（2CR5 使用時）
大きさ	約 106（W）× 66（H）× 54（D）mm（突起部除く）
質量（重さ）	約 255g（バッテリー、SD カード除く）
動作環境	
温度	0 ～ 40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※ CIPA 規格は、カメラ映像機器工業会による電池寿命測定方法を定めた規格です。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でスピードライト撮影、画像モード「標準」です。

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL1 をフル充電で使用時のものです。
- 電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度によって電池性能に差があるため、撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。

Design rule for Camera File system（DCF）について

COOLPIX4800 は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif※ Version 2.2 について

COOLPIX4800 は、Exif Version 2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンタを使用することで、撮影時のカメラ情報をいかした最適なプリント出力を得ることができます。プリンタの使用説明書をご参照ください。

※ Exif = Exchangeable image file format

索引

英数・マーク

ア

カ

付録

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL:0570-02-8000　FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　　　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　　　　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　　　　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社

〒

TEL:

FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリ容量：　　　　　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通
☎ 0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下記をご利用ください。（有料サービス）

<ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口>

0120 FreeDial ☎ 0120-868-545

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：9:30〜17:30（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB4K03(10)
6MA03110--